

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年12月11日

アクサ生命健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	27920
組合名称	アクサ生命健康保険組合
形態	単一
業種	金融業、保険業

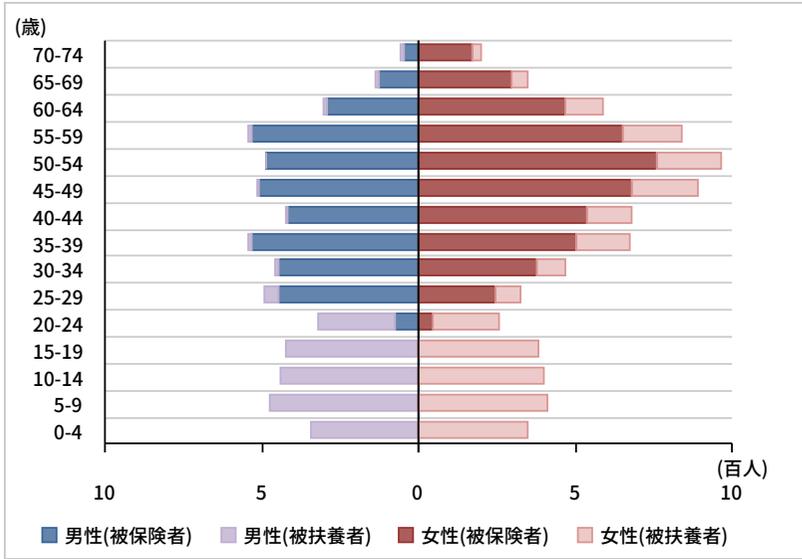
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	8,639名 男性45.1% (平均年齢45.18歳) * 女性54.9% (平均年齢49.37歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	13,728名	-名	-名
適用事業所数	6カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	314カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	94% ₀₀	-% ₀₀	-% ₀₀

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	1	8	-	-	-	-
	保健師等	3	0	-	-	-	-

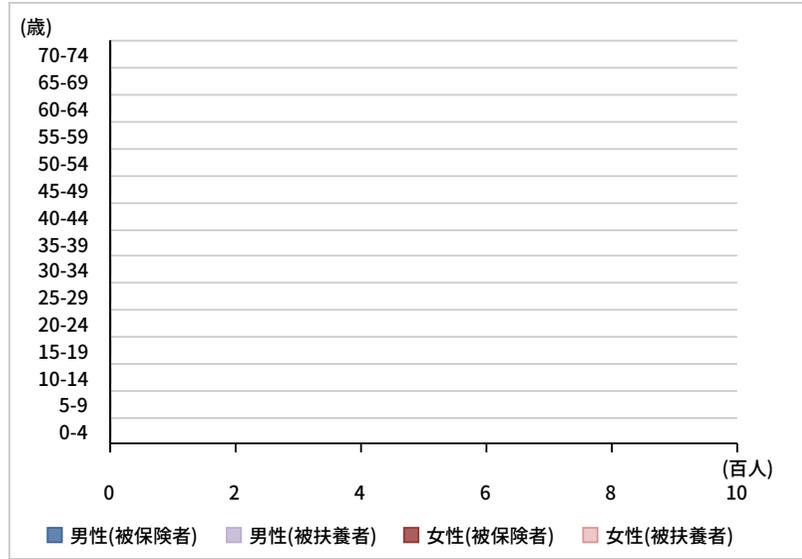
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	5,931 / 6,413 = 92.5 %	
	被保険者	5,339 / 5,398 = 98.9 %	
	被扶養者	592 / 1,015 = 58.3 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	719 / 989 = 72.7 %	
	被保険者	707 / 944 = 74.9 %	
	被扶養者	12 / 45 = 26.7 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	39,770	4,604	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	22,646	2,621	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	1,224	142	-	-	-	-
	疾病予防費	205,265	23,760	-	-	-	-
	体育奨励費	100	12	-	-	-	-
	直営保養所費	1,244	144	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	270,249	31,282	0	-	0	-
経常支出合計 …b	4,930,907	570,773	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	5.48						

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	76人	25～29	443人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	445人	35～39	529人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	415人	45～49	510人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	485人	55～59	532人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	291人	65～69	126人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	47人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	44人	25～29	246人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	377人	35～39	504人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	537人	45～49	679人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	761人	55～59	651人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	470人	65～69	298人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	173人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	343人	5～9	472人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	441人	15～19	421人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	246人	25～29	43人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	9人	35～39	11人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	5人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	10人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	10人	65～69	14人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	10人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	350人	5～9	409人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	398人	15～19	381人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	213人	25～29	82人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	92人	35～39	172人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	145人	45～49	212人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	205人	55～59	190人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	119人	65～69	50人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	30人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

営業所の拠点が全国にあり、加入者も点在している。

女性被保険者は40代後半から50代が多く、65歳以上の高齢者が全体の約1割程度いる。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・被扶養者の健診受診率が低い。
- ・特定保健指導の参加率が低い。
- ・肥満者の割合が多い。

事業の一覧

職場環境の整備

疾病予防	健康管理事業推進委員会開催
疾病予防	AWP 定例M T Gの実施
疾病予防	事業主と連携した健康宣言および健康経営の推進
疾病予防	健康白書の作成

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費通知配布
保健指導宣伝	機関紙等発行
保健指導宣伝	新入社員向けしおり配布
疾病予防	健康ポータルサイト運営
疾病予防	ジェネリック通知配布

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診・生活習慣病健診（被扶養者・任意継続）
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	総合健診（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
疾病予防	生活習慣病改善サポート
疾病予防	人間ドック費用補助
疾病予防	ストレスチェック
疾病予防	禁煙促進
疾病予防	インフルエンザ費用補助
疾病予防	健康相談等
疾病予防	糖尿病等重症化予防
疾病予防	歯科健診の受診勧奨
疾病予防	事業所用常備薬の配布
体育奨励	運動習慣の改善
直営保養所	保養所の運営

事業主の取組

1	定期健康診断
2	長時間労働者産業医面談
3	健康診断事後措置
4	健康宣言
5	禁煙施策
6	ヘルスリテラシー向上施策

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
職場環境の整備											
疾病予防	1,2	健康管理事業推進委員会開催	衛生委員会に毎月参加し、健康管理事業推進委員会を開催し、保健事業の企画、計画、結果の分析を健康管理委員と共有、意見交換を行い、実効性の高い保健事業実施を実現する。	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	事業主であるアクサ生命とアクサダイレクト生命の衛生委員会の中で健康管理事業推進委員会を開催し、健康保険組合の取り組みや課題について共有し意見集約を行った。	事業主の衛生委員会の中で行うことで確実な実施が可能。	活発な意見交換等ができるようにしていく必要がある。	4
	1,2,5	AWP定例MTGの実施	MTGに参加し、現課題や今後の計画を共有し、コラボヘルスとして、ヘルスリテラシー向上策や保険事業等を実施することで、事業主の行うAXA Wellness Programに貢献する	一部の事業所	男女	18～(上限なし)	被保険者	事業主が開催するAWP会議へ出席し、健康課題や今後の取り組みについてウェルネス推進マネージャー・産業医等と共有をして、コラボヘルスを促進	会議は定例で開催しており、タイムリーに共有・確認が可能	特になし	5
	1,2	事業主と連携した健康宣言および健康経営の推進	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイト500を継続取得し、全社員に周知することにより健康への意識付けを行う	母体企業	男女	18～(上限なし)	加入者全員	事業主と連携し、金の認定、銀の認定および健康経営優良法人ホワイト500を継続取得のための取り組みと申請を行う。令和5年度においても無事に継続取得をすることができた。	事業主との円滑なコミュニケーション	特になし	5
	1,2	健康白書の作成	健診結果、レセプト分析から、加入者の健康状態や生活習慣の「見える化」を図り、健康課題を特定の上、データに裏付けられた保健事業の実施につなげる。	全て	男女	18～74	加入者全員	年間を通して、健診結果、レセプト情報から外部機関のツールを活用して健康課題等を分析。その結果について事業主と共有し、課題への対応策を検討。また、社内通信(アクサウェルネス通信)で加入者への情報発信を行い、健康への意識付けを行う。	健保組合から加入者へ、定期的に社内通信(アクサウェルネス通信)を配信する仕組みが構築されている。	外部機関の分析ツールについて、分析結果を抽出するまでに時間が掛かる。また、様々な機能があるが使いこなせていない部分もある。	5
加入者への意識づけ											
保健指導宣伝	2	医療費通知配布	加入者自身の医療費を認識させ、適正な医療費支出と加入者の健康保険制度に対する理解を深める	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	健康ポータルサイト「Pep Up」上にて、毎月医療費通知を掲載。	健康ポータルサイトPep Upを利用することで、ペーパーレスでタイムリーに通知することができる。	医療費通知の確認にはPepUpへの新規登録が必須。	5
	2	機関紙等発行	健保の現状、健保を取り巻く環境変化、各種事業の実施状況などを加入者と共有するとともに加入者の健康リテラシーの向上を図る。	全て	男女	18～74	被保険者	・「健保ニュース」は年2回(4月/9月)発行。 ・「アクサウェルネス通信」は不定期で年に6回程度発行。	英語版の作成も開始したことで、より多くの加入者へ情報提供を行うことができた。	特になし。	4
	2	新入社員向けしおり配布	健康保険組合の概要、ホームページ、取り入れているICTなど健保利用に関する情報提供し、健康保険に対する理解を深める。	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	新入社員の入社時に事業主から配布	新入社員への配布書類の中の一書類としているため、全員に配布可能	特になし	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
疾病予防	2,5	健康ポータルサイト運営	ICT活用により加入者のヘルスリテラシーを向上させるとともに、保健事業に関する各種申請手続きの効率化を図る	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員		外部委託先の健康ポータルサイト「Pep Up」を活用し、以下のような取り組みを実施。 ①事業主とのコラボでウォーキングキャンペーンを実施。 ②歩数に応じたインセンティブ（Pepポイント）の付与。 ③随時健診結果データを登録し、健康年齢などを表示して、加入者の健康への意識付けを行う。 ④保険事業に関する各種申請手続きで利用。	・事業主と連携し、共同で実施。 ・各種申請手続きやインセンティブ付与が行える機能がある。	随時利用促進を行っているが、被扶養者の登録率が上がらない。	4
	2,7	ジェネリック通知配布	ジェネリック使用を促し医療費の抑制を図る。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員		健康ポータルサイト「Pep Up」上にて、3か月に一度ジェネリック通知を掲載。	健康ポータルサイトPep Up利用者には四半期に一度実施。 未利用者には紙ベースの通知を9月に実施。	ジェネリック通知の確認にはPepUpへの新規登録が必須。	5
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診・生活習慣病健診(被扶養者・任意継続)	被扶養者の生活習慣病予防および重症化予防。	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者		-毎年4月～12月に実施。	・健診案内は被扶養者の自宅へ郵送。 ・未受診者へは受診勧奨を実施。	被扶養者の健診受診率の向上。	3
	3	特定健診(被保険者)	被保険者の生活習慣病予防および重症化予防。	全て	男女	40～74	被保険者		-毎年4月～12月に実施。	事業主の定期健診とあわせて実施。	特になし。	5
	3	総合健診(被保険者)	被保険者の健康管理と疾病の早期発見	全て	男女	18～74	被保険者		-毎年4月～12月に実施。	事業主の行う定期健診に健保の行うがん検診をセットにして、総合健診として実施。 未受診者への受診勧奨を定期的に実施。	特になし。	5
特定保健指導事業	4	特定保健指導(被扶養者)	被扶養者の生活習慣病予防および重症化予防。	全て	男女	40～74	基準該当者		前年の健診結果に基づいて、翌年2月頃から随時案内(募集)を行い、未申込者へは電話勧奨および再募集も実施。	電話勧奨および再募集の実施。	被扶養者の実施率が低い。	4
	4	特定保健指導(被保険者)	被保険者の生活習慣病予防および重症化予防。	全て	男女	40～74	基準該当者		前年の健診結果に基づいて、翌年2月頃から随時案内(募集)を行う。未申込者へはメール/電話勧奨、職制を通じた勧奨、再募集も実施。	メール/電話勧奨、再募集の実施。また、事業主とコラボヘルスを実施し、職制を通じた積極的な参加勧奨も行った。	実施率の向上および対象者率の減少。リピーター対策。	5
疾病予防	4	生活習慣病改善サポート	特定保健指導対象者基準に該当する35歳から39歳の若年層(特定保健指導対象予備軍)を抽出し、40歳時点で特定保健指導の対象外となることを目指し生活習慣改善の保健指導を実施。結果的に特定保健指導対象者割合の減少を図る。	全て	男女	35～39	基準該当者		前年の健診結果に基づいて、翌年3月頃から案内(募集)を行い、メール&電話勧奨も実施。	健康アプリ「Pep Up」を利用したオンライン完結型であったため、初回面談実施者は全員、プログラムを終了することができた。	Pep Upへの登録が必須となる。	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	人間ドック費用補助	健診の選択肢を増やすことで法定健診、特定健診の受診率の向上を図り、健康状態を把握するとともに重症化予防につなげる	全て	男女	18～74	基準該当者		事業主の行う健康診断、健保の行う健診を人間ドックで受診した際に費用補助を実施。	人間ドックは事業主の行う社員の健康診断としても利用可能。社員も被扶養者も補助額は同額にしている。人間ドック受診時に脳ドックを受診した場合には別途補助がある。	特になし	4
	1,6	ストレスチェック	ストレスチェックの法定対応とメンタルヘルスの1次予防	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者		6月にストレスチェックを実施。 9月に分析結果に関する事業主向け説明会を実施。	未受検者への職制を通じた回答勧奨の実施。	特になし。	5
	2,5	禁煙促進	喫煙率の低下	全て	男女	18～74	被保険者		年に一度禁煙キャンペーンを実施。年間を通して、喫煙者へ禁煙サポートを健保負担で提供。	事業主と連携して実施。	喫煙率の高止まり。	1
	8	インフルエンザ費用補助	インフルエンザ罹患者の減少	全て	男女	18～74	被保険者		・10月～11月に希望事業所にて集団予防接種を実施。 ・10月～翌年2月に予防接種を受けた被保険者へ、事業主から3,000円、健保から1000円の費用補助を行う。	集団接種に関しては、各事業所において担当者をアサインし、事前準備や当日運営の対応をしてもらえたこと。	集団接種を行う事業所の増加。	5
	6	健康相談等	加入者の健康全般に関する不安、疑問への対応窓口を提供する。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員		・被保険者およびその家族を対象に、外部委託により①健康相談(電話/Email)②メンタルヘルス(電話/オンライン/対面)③セカンドオピニオンサービス(電話)を提供。 ・事業主とも連携し、産業医が発信するメルマガに毎回相談窓口に関する情報を記載。	①②については英語対応も可能。また、①についてはメール相談も可能で、②についてはオンラインや対面の相談も受け付けている。	相談窓口の周知および利用促進。	5
	4	糖尿病等重症化予防	糖尿病等要受診レベルに該当する対象者に受診勧奨し、重症化予防を行なう	全て	男女	18～74	基準該当者		・糖尿病等の生活習慣病重症化予防として、健診数値が一定基準値以上かつ医療機関の受診履歴がないものを治療放置者として抽出し、対象者へ受診勧奨を行う ・医療機関の受診履歴があるものに対しては、外部委託先による生活習慣病重症化予防プログラムを提供。	相談希望者に対し産業医・保健師と連携した対応を行なう。	勧奨後の継続的なトラッキング。	4
	3	歯科健診の受診勧奨	う蝕や歯周病の重症化を防止し、長期的なスパンで歯科医療費を抑制するため、歯科未受診者を減らす	全て	男女	18～74	加入者全員		・無料歯科健診の案内を社内イントラで配信。 ・噛み合わせが悪くかつ一定期間歯科未受診者を抽出し、受診勧奨を実施。	健保の契約先での無料歯科健診を提供。	受診勧奨後の受診率。	5
	8	事業所用常備薬の配布	職場への常備薬配備	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者		毎年3月下旬に各事業所へ常備薬を配布。	毎年継続的に実施。	常備薬はセット購入としているため、薬によっては在庫が余り、使用せずに有効期限が切れてしまうものもある。	5
体育奨励	2,5	運動習慣の改善	運動習慣を根付かせるための取り組みを事業主と一体となり行なうことで、加入者の運動習慣改善を図る	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員		・スポーツクラブと法人契約を締結し加入者への利用促進を行う。 ・ウォーキングキャンペーンを実施。	・スポーツクラブについては法人価格での利用が可能。(年に数回、入会キャンペーンも実施。) ・ウォーキングキャンペーンについては、事業主とコラボで実施し、インセンティブ付与も行う。	ウォーキングキャンペーン参加者数の増加。	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
直営保養所	8	保養所の運営	加入者の健康増進やリフレッシュを図る。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員		一部対象期間外はあるが通年で宿泊できる。	利用人数低下はコロナ禍によるものと推察。	施設の老朽化。	3

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

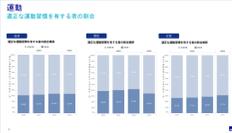
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	18～74	各店舗単位で実施 97%	未受診者への受診勧奨	期間が長くなり早期受診ができていない	無
長時間労働者産業医面談	社員の健康維持	被保険者	男女	18～(上限なし)	健康相談室で実施 産業医面談	メンタルヘルス事前予防	業務改善とマネージャーの教育 地方営業店での実施	無
健康診断事後措置	要精密検査、要治療者への勧奨および結果の把握	被保険者	男女	18～(上限なし)	再検査者へのメール受診勧奨 (1600件) 要治療者への個別確認手紙の送付 (1000件) 電話確認 (50名)	生活習慣病重症化予防	確認手紙の返信率 (約30%)	無
健康宣言	健康経営の公表	被保険者 被扶養者	男女	0～(上限なし)	事業主として健康宣言を発表する ホワイト500認定 健康企業宣言 銀の認定	健康経営の取組み	-	有
禁煙施策	従業員の疾病予防及び職場環境の整備 全オフィスでの完全分煙実施、禁煙キャンペーン、定期的禁煙デーの設定に取組む	被保険者	男女	20～(上限なし)	-	-	-	-
ヘルスリテラシー向上施策	産業医によるヘルスキオスク開催	被保険者	男女	18～(上限なし)	-	-	-	-

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

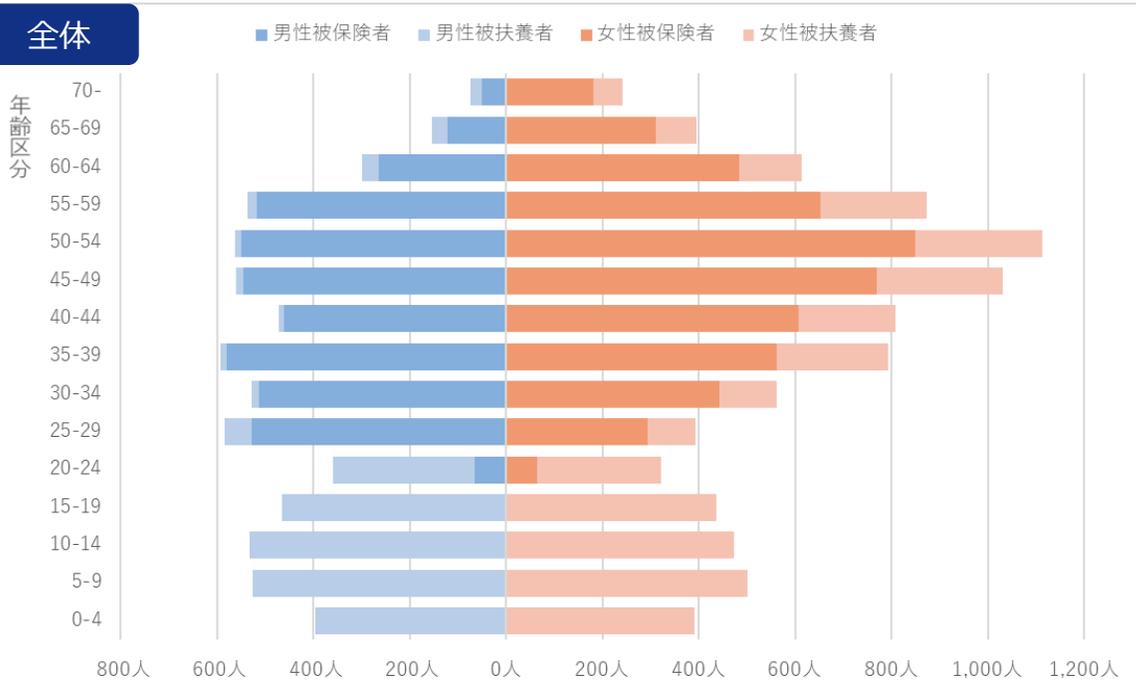
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		加入者構成	加入者構成の分析	添付は2022年度のデータ。 <ul style="list-style-type: none"> ・女性比率が高い。(男性：43%、女性：57%) ・平均年齢は男性被保険者が44歳で、女性被保険者が48歳。 ・男性被保険者は30代後半が最も多く、女性被保険者は50代前半が最も多い。被扶養者は25歳未満の扶養が多くなっている。 ・他健保と比較すると、男性被保険者は20代前半が少ない。女性被保険者は30代前半までの若手が少なく、45歳以上が多い。
イ		生活習慣病リスクの分布データ	健康リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> ・他健保と比較すると、生活習慣病のリスクが無い「正常」の割合がやや少ない。(2022年度自健保：20.7%、他健保：21.3%) ・通院が必要とされる「受診勧奨域」「要治療域」が毎年若干減少しており、「通院中」が若干増加している。(=受診勧奨の取組の成果が出ているとも考えられる。)
ウ		特定健診の状況	特定健診分析	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者は、過去3年間(2020-2022)ではいずれの年度も98%以上と高い。(2021健保組合平均：89.6%) ・被扶養者は、過去3年間(2020-2022)では60%前後を推移。平均より高いものの受診率の向上が課題。(2021健保組合平均：46.1%)
エ		特定保健指導の状況	特定保健指導分析	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の対象である「動機づけ支援」「積極的支援」は毎年減少しているが、その分「服薬」が毎年増加している。 ・年齢階層別にみると、他健保と同じような傾向にあるが、60歳以降は一気に生活習慣病リスクが無い「情報提供」が減少し、「服薬」が増加する。
オ		医療費データ	医療費・患者数分析	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費構成割合では、2022年度は「入院」の医療費割合が前年より減少し、「通院」の医療費割合が前年より増加。 ・総医療費は過去4年間で増加傾向にあり、加入者比率を考慮しても、女性の医療費割合が若干高い。 ・生活習慣病の医療費は全体の1割程度。 ・他健保と比較すると、生活習慣病/悪性腫瘍については若干割合が多く、精神疾患/歯科については若干割合が少ない。

<p>カ</p>		<p>生活習慣に関するデータ</p>	<p>その他</p>	<p><運動> ・適正な運動習慣を有する者の割合は全体の約3割で、他健保と同程度の数値となっている。 ・性別で見ると、2022年度の数値では男性は42.0%が運動習慣があるものの、女性は28.4%と低く運動不足である者が多い。</p> <p><食事> ・適正な食事習慣を有する者の割合は全体の約7割となっており、他健保よりも若干多い。 ・性別で見ると、2022年度の数値では男性は65.3%と平均よりも低く、女性は76.3%と平均より高く比較的良い。</p> <p><喫煙率> ・過去3年間（2020-2022）で見ると、全体の喫煙率は24%で毎年微減しているものの、他健保よりも高い数値となっている。 ・性別で見ると、男女ともに他健保よりも高いが、女性のほうがより差が大きくなっている。</p> <p><飲酒> ・過去3年間（2020-2022）で見ると、毎日飲む人は減っているが、他健保よりも割合は多い。（2022年度自健保：23.7%、健保平均：21.5%） ・性別で見ると、男女ともに毎日飲み人の割合が他健保よりも高いが、女性のほうがより差が大きくなっている。</p> <p><睡眠> ・過去3年間（2020-2022）で見ると、睡眠で休養が十分に取れている者の割合は毎年減少しており、他健保よりも割合は若干少ない。（2022年度自健保：63.6%、健保平均：64.2%） ・性別で見ると、他健保と比較して男性は休養が取れている者の割合が多く良好な状態で、逆に女性は他健保よりも休養が取れている者の割合が少ない。</p>
<p>キ</p>		<p>健診結果に関するデータ</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>・BMI25以上の肥満割合が平均よりも多く（2022年度自健保：28.43%、健保平均：27.49%）、BMI18.5未満のやせ割合は平均よりも少ない傾向にある（2022年度自健保：7.61%、健保平均：8.50%）。</p> <p>・拡張期血圧/収縮期血圧はともに、平均と比較して正常群の割合が多く、比較的良い。</p> <p>・GOT、GPT、r-GTPについては毎年数値が良化しており、平均と比較して正常群の割合が多く、比較的良い。</p> <p>・中性脂肪は平均的であるものの、HDLとLDLは平均よりもリスク者の割合が若干多い。</p> <p>・空腹時血糖/HbA1cはともに、平均と比較してリスク者の割合が多く、特に中/高リスク者の割合が多い。</p>
<p>ク</p>		<p>ジェネリック医薬品</p>	<p>後発医薬品分析</p>	<p>・過去3年間（2020-2022）の使用率は80%を超えて毎年増加しており、組合健保平均よりも若干高い数値を保っている</p> <p>・2022年度の使用率を年齢別で見ると、「10代～20代前半」と「70代以降」が健保全体の平均率（83.84%）よりも低くなっている</p>

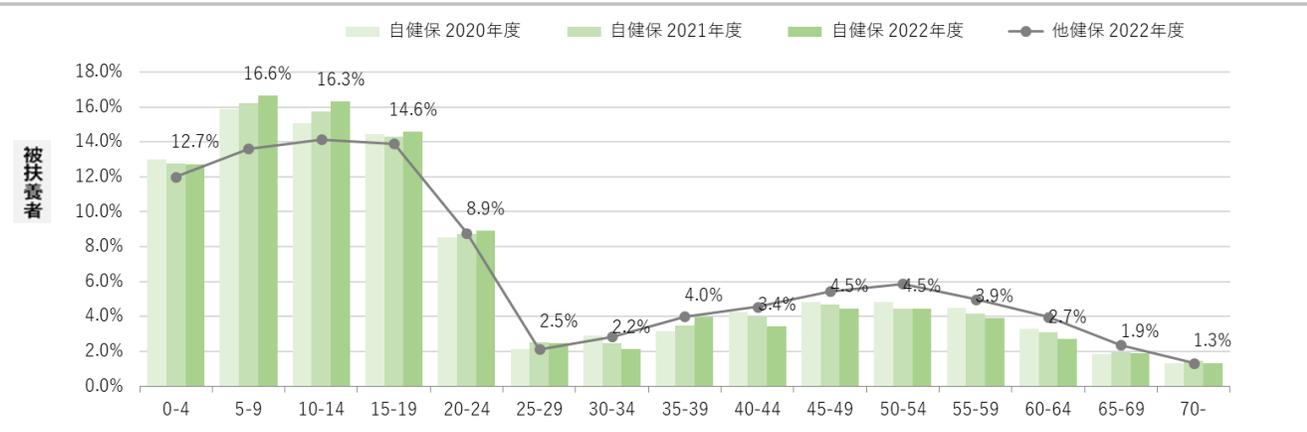
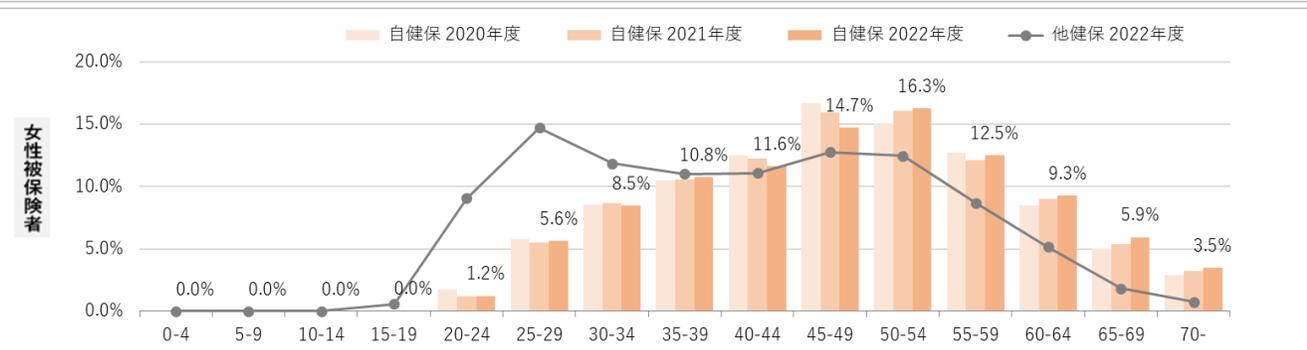
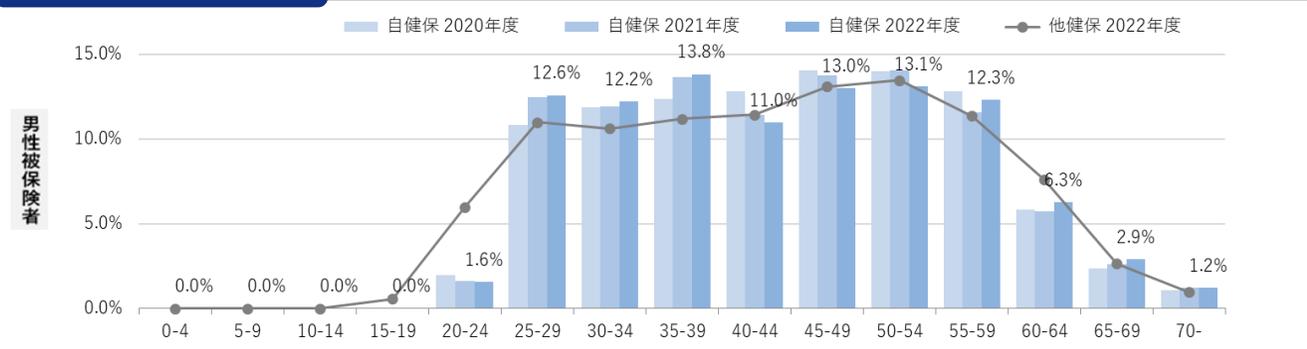
加入者構成

性別・年齢階層別

全体



性別・年齢階層別



健康マップ

生活習慣病リスクの分布データ

健康マップ

各年度内1日でも在籍：A・B・Cの全てにチェック
各年度末在籍：B・Cにチェック..

加入者区分
 被保険者
 被扶養者

性別
 男性
 女性

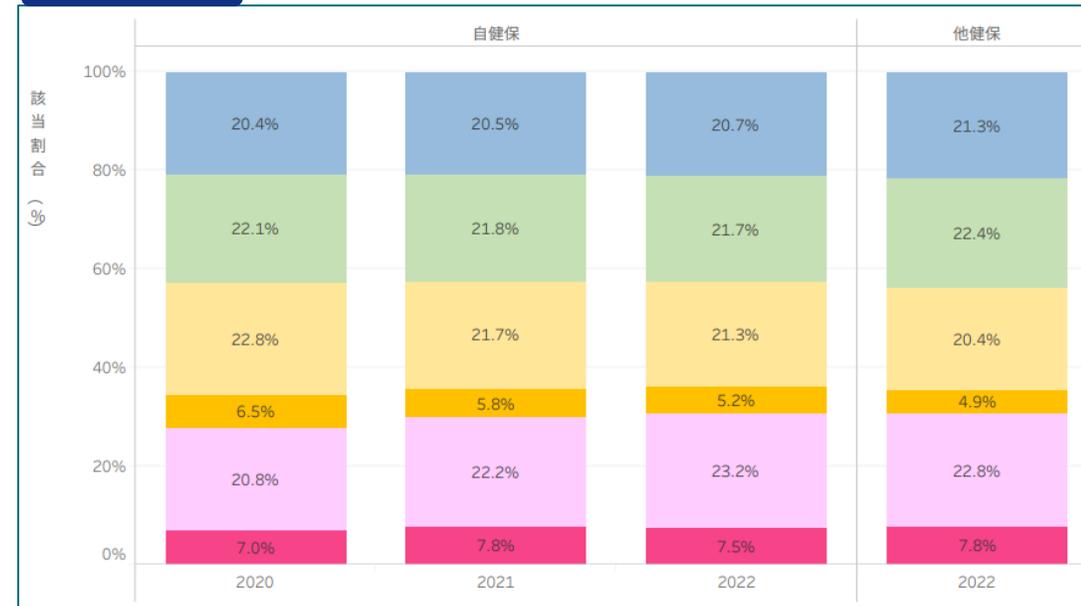
年齢区分
複数の値

事業所名
すべて

在籍状況
 A
 B
 C

生活習慣病レベル		生活習慣病で未通院					生活習慣病で通院		
		不明	正常	保健指導域	受診勧奨域	要治療域	通院中 (合併症無)	通院中 (合併症有)	通院中 (重篤)
該当人数	2022年度	1,719人	1,663人	1,747人	1,710人	422人	1,866人	600人	33人
	2021年度	1,766人	1,669人	1,780人	1,767人	471人	1,809人	635人	26人
	2020年度	1,844人	1,651人	1,794人	1,847人	530人	1,690人	566人	33人
該当割合	自健保	2022年度	20.7%	21.7%	21.3%	5.2%	23.2%	7.5%	0.4%
		2021年度	20.5%	21.8%	21.7%	5.8%	22.2%	7.8%	0.3%
		2020年度	20.4%	22.1%	22.8%	6.5%	20.8%	7.0%	0.4%
	他健保	2022年度	21.3%	22.4%	20.4%	4.9%	22.8%	7.8%	0.4%

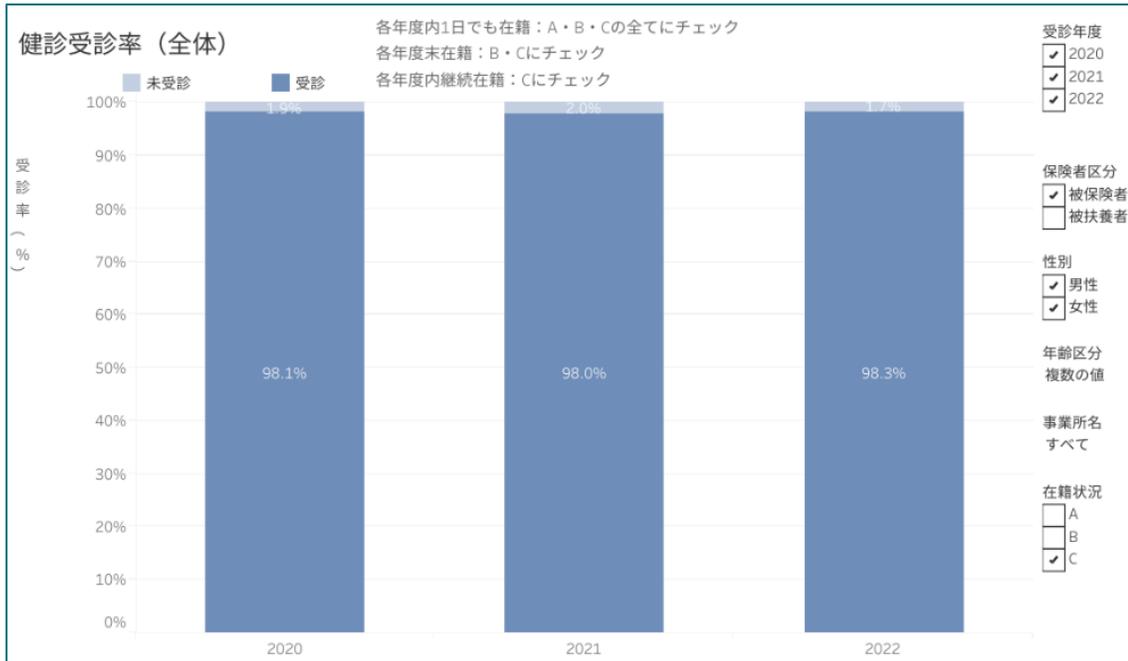
割合推移



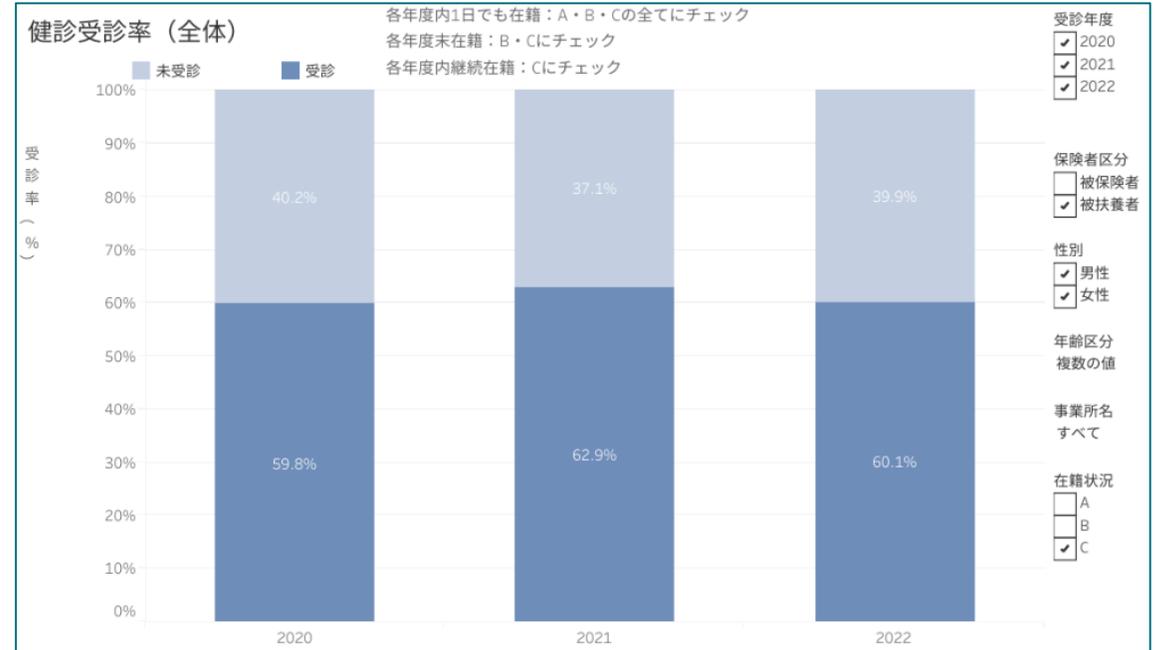
特定健診の状況

40歳以上の特定健診受診率

被保険者

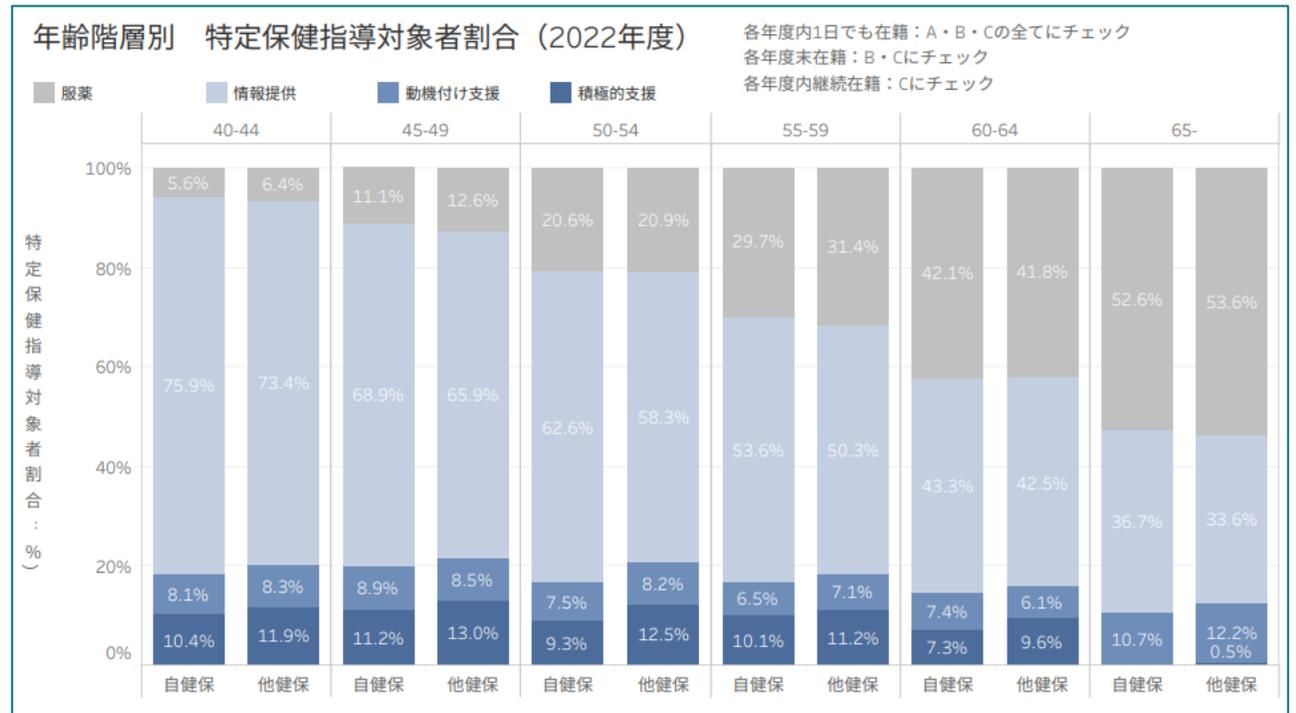
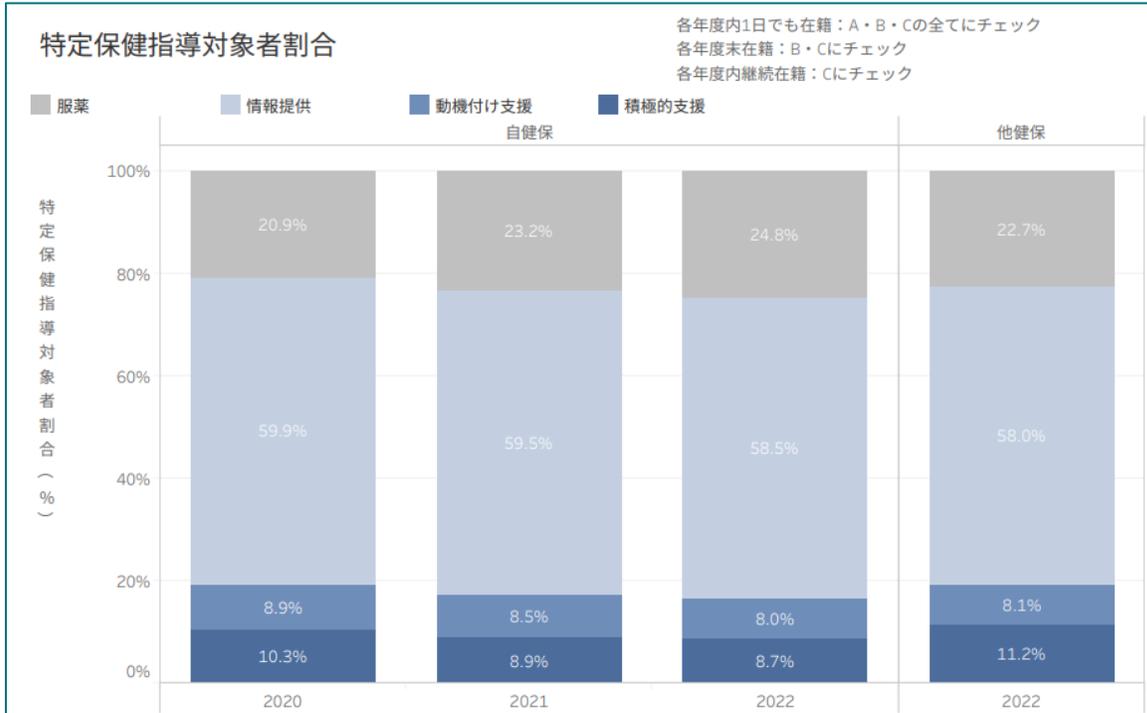


被扶養者



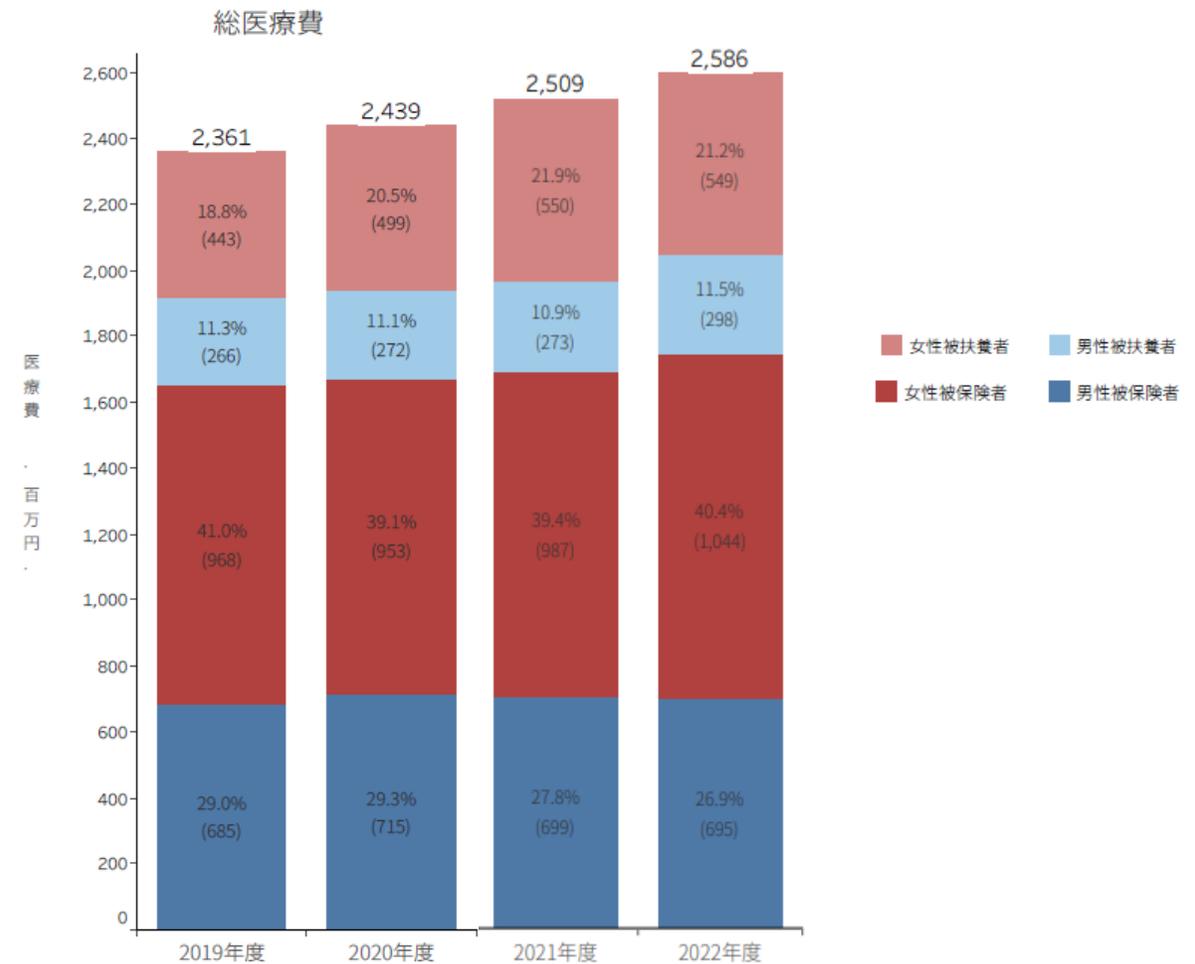
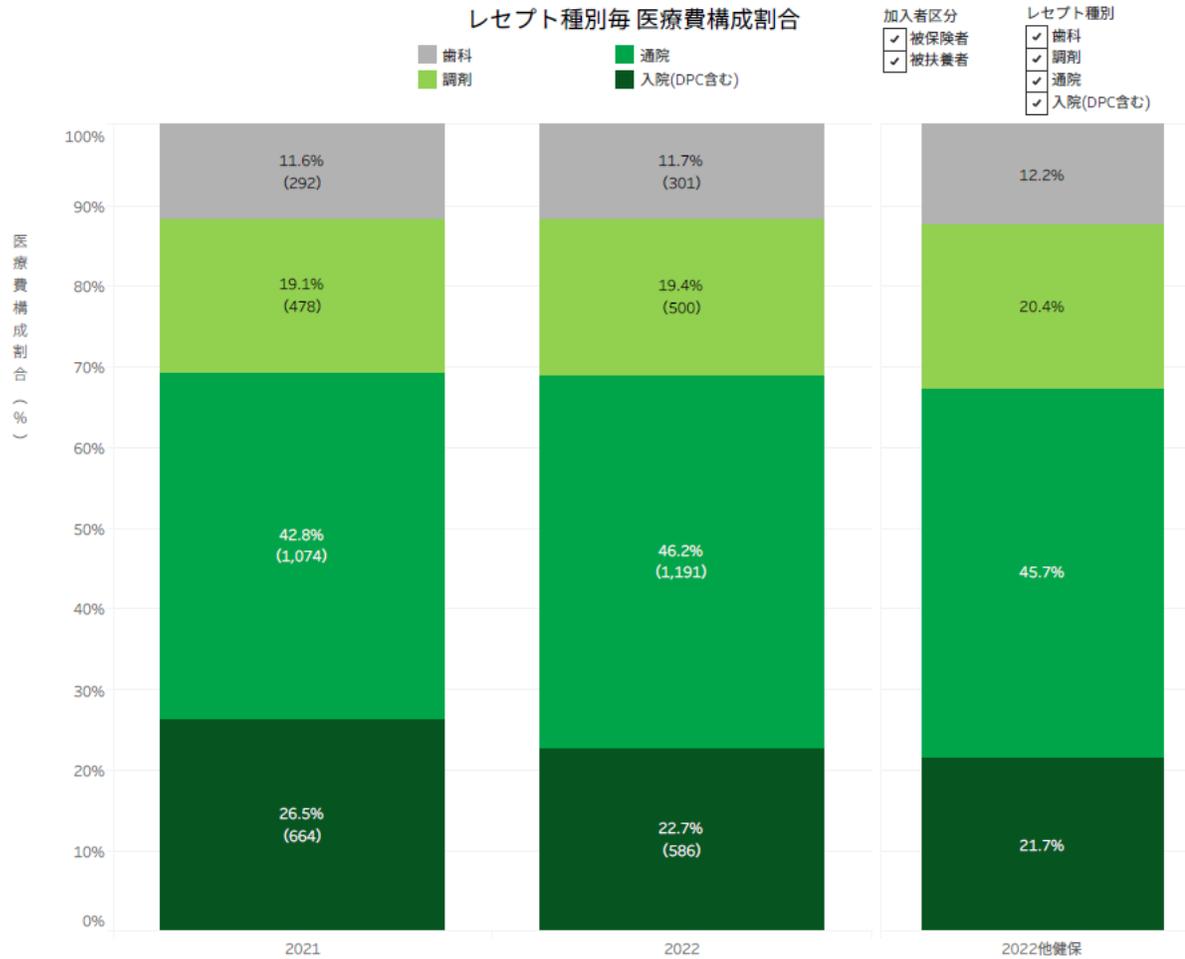
特定保健指導の状況

特定保健指導の対象者割合



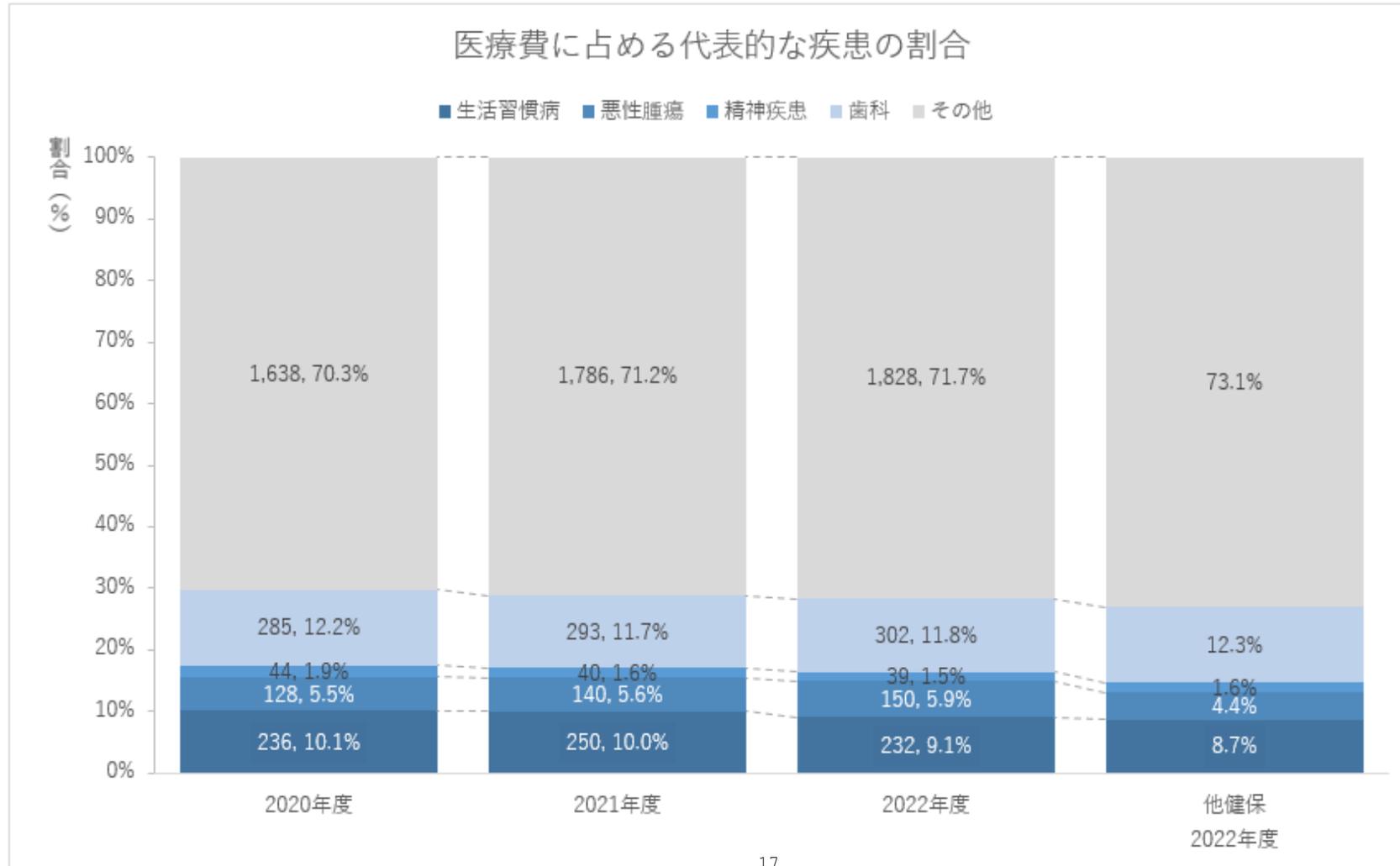
医療費

① 構成割合、総医療費の推移



医療費

② 代表的な疾患の割合

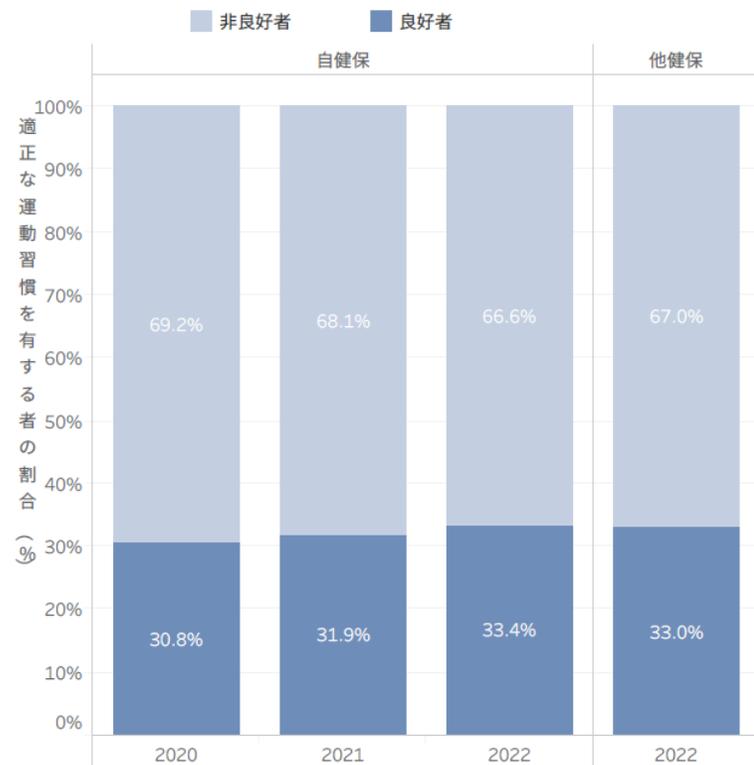


運動

適正な運動習慣を有する者の割合

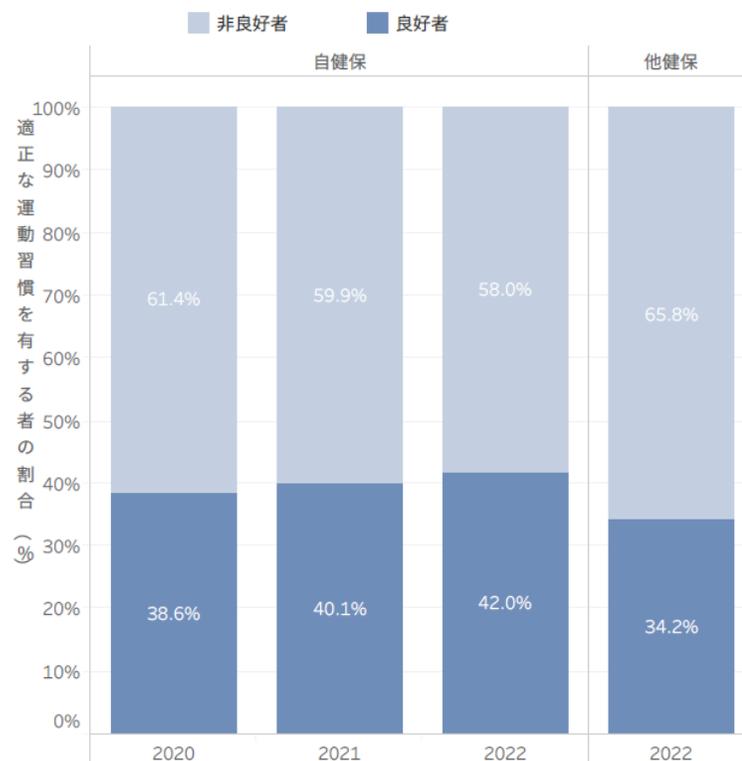
全体

適正な運動習慣を有する者の割合推移



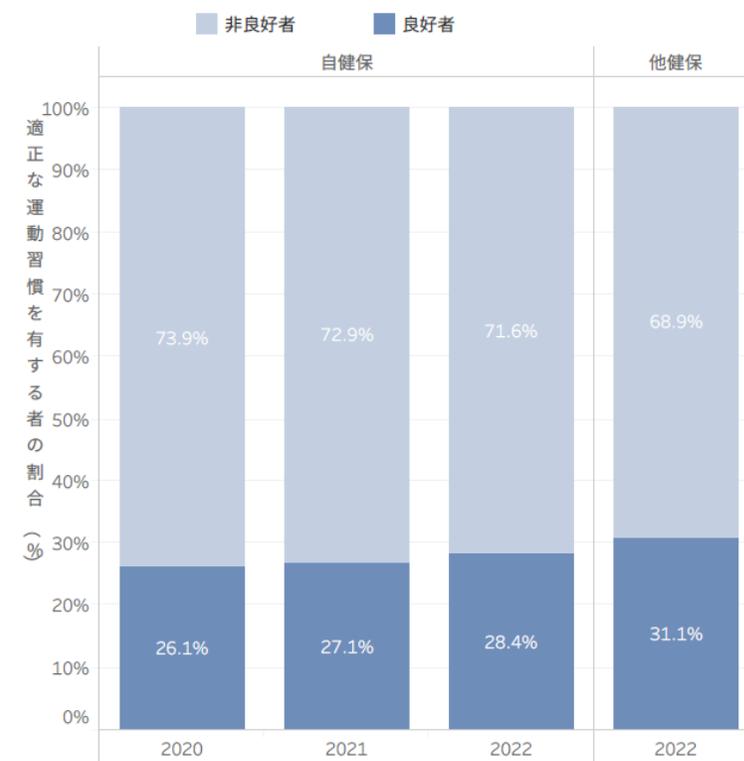
男性

適正な運動習慣を有する者の割合推移



女性

適正な運動習慣を有する者の割合推移

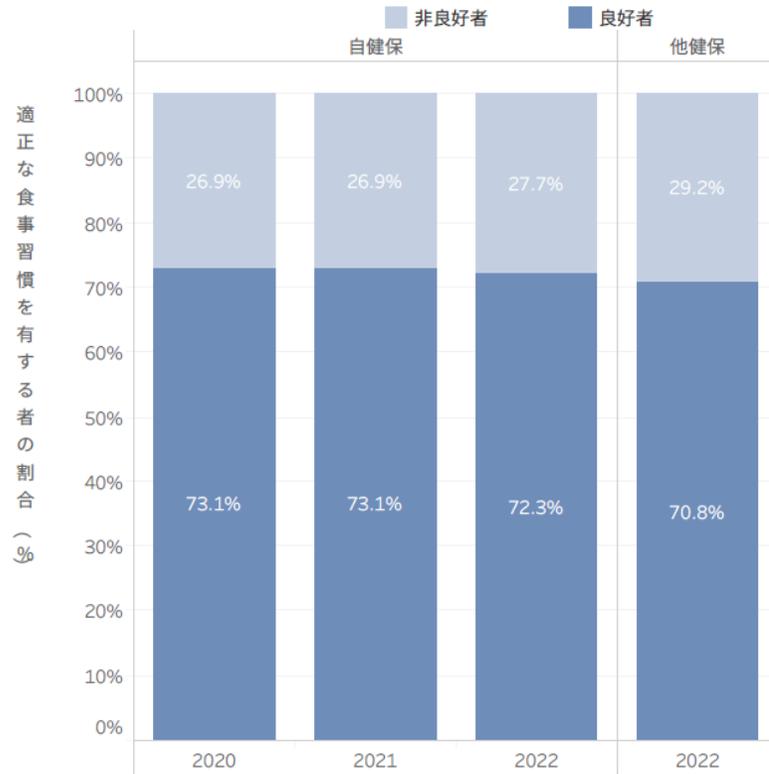


食事

適正な食事習慣を有する者の割合

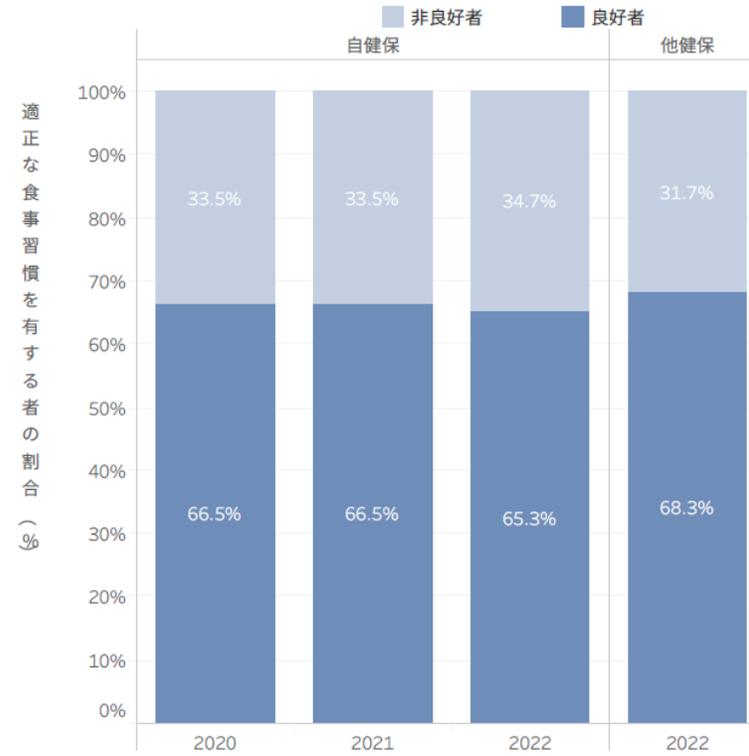
全体

適正な食事習慣を有する者の割合推移



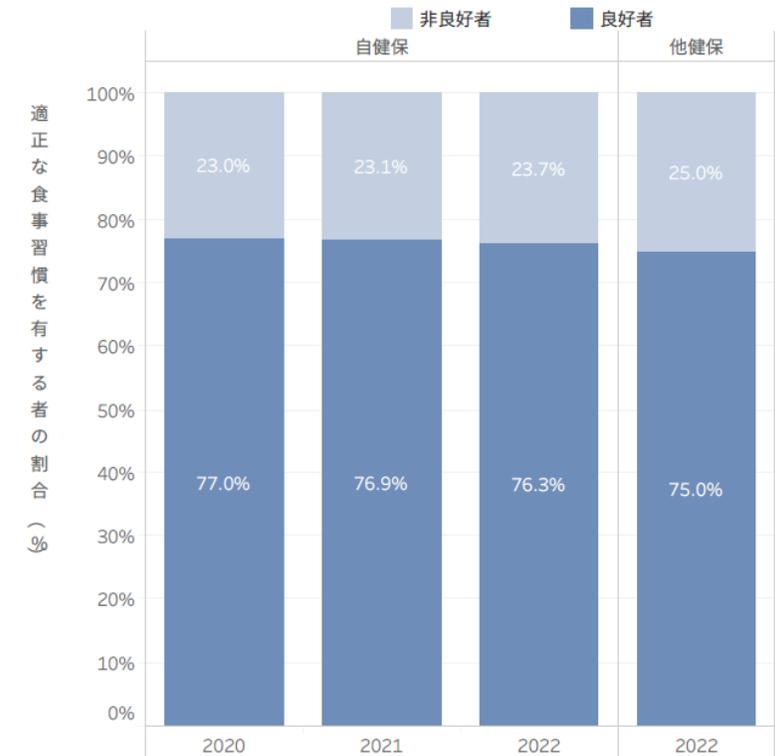
男性

適正な食事習慣を有する者の割合推移



女性

適正な食事習慣を有する者の割合推移

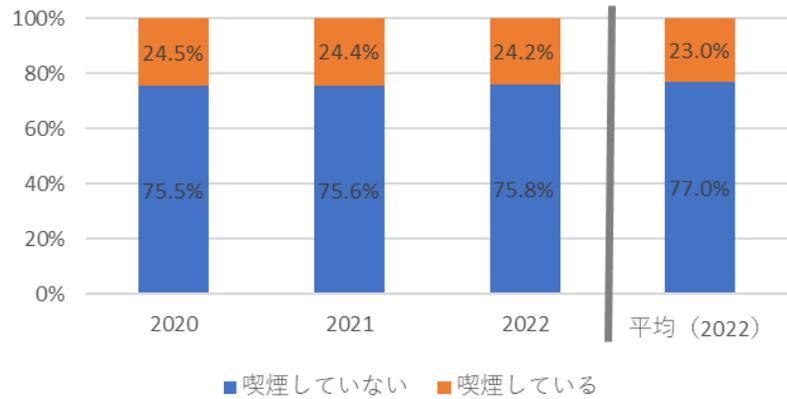


喫煙

喫煙者の割合

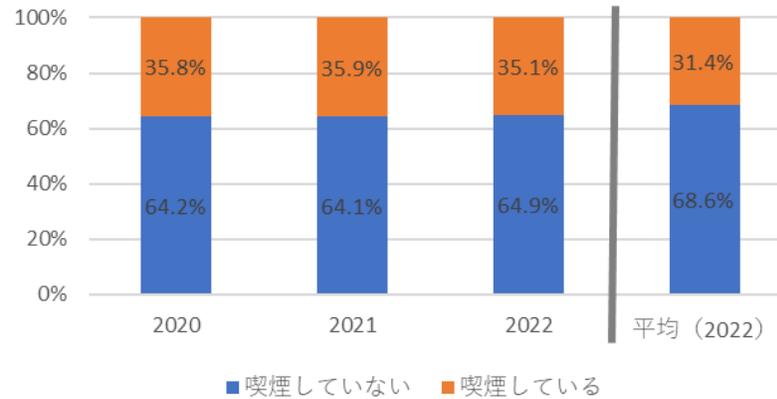
全体

喫煙率（全体）



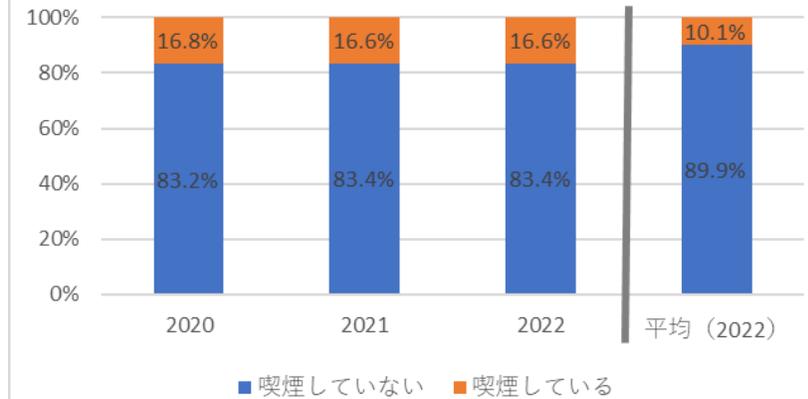
男性

喫煙率（男性）



女性

喫煙率（女性）

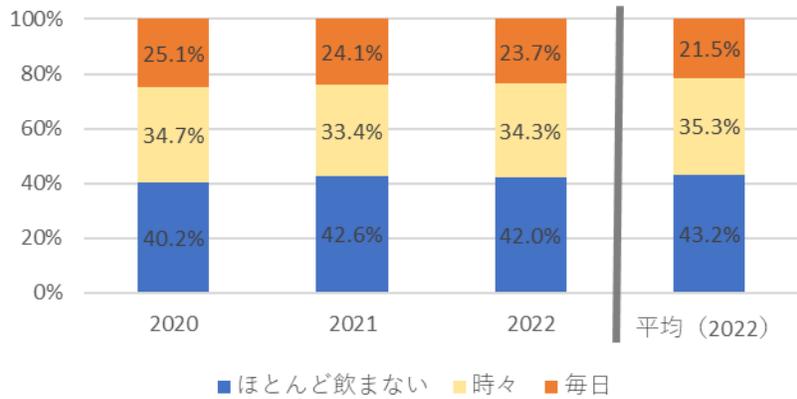


飲酒

飲酒の頻度

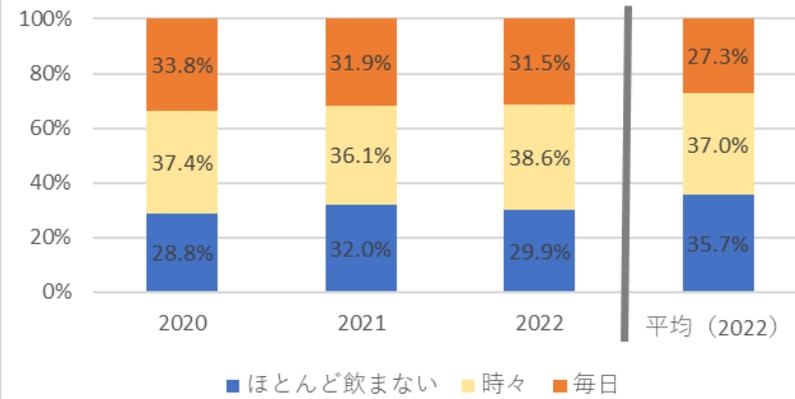
全体

飲酒の頻度（全体）



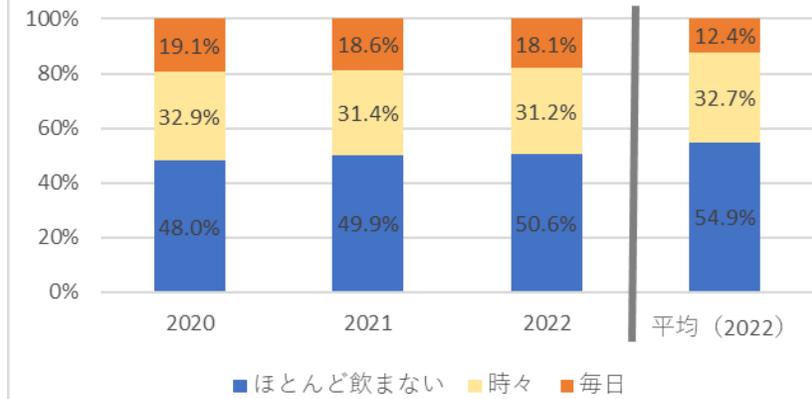
男性

飲酒の頻度（男性）



女性

飲酒の頻度（女性）

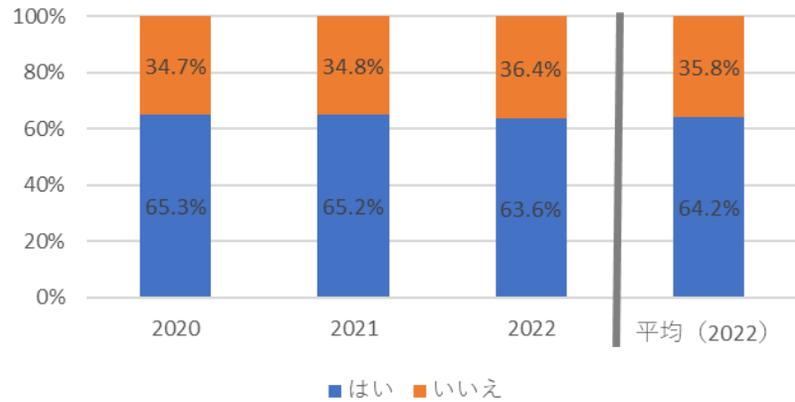


睡眠

睡眠で休養が十分に取れているものの割合

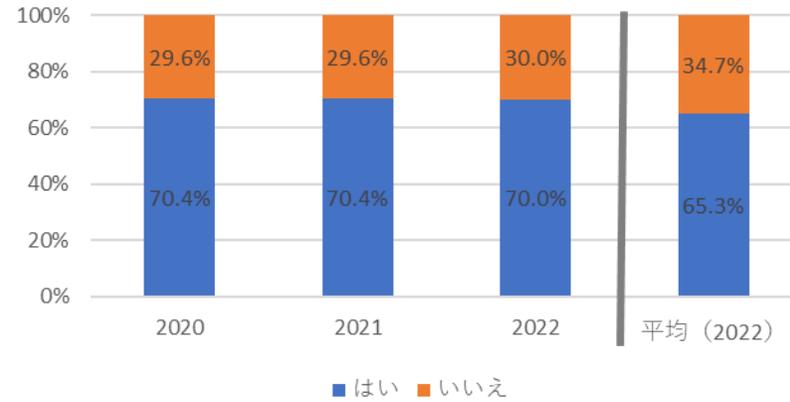
全体

睡眠で休養が十分に取れているか（全体）



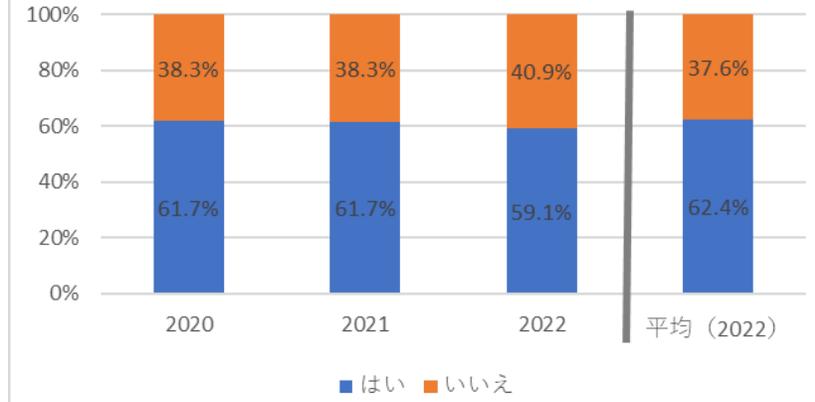
男性

睡眠で休養が十分に取れているか（男性）



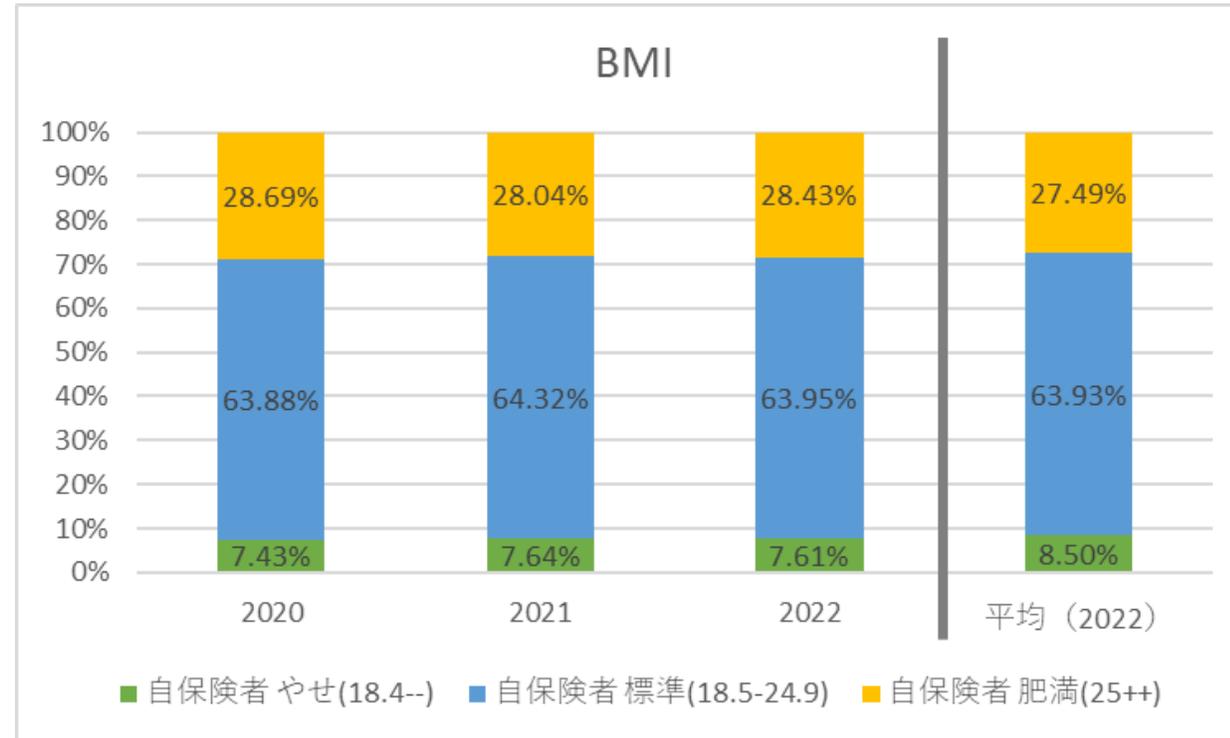
女性

睡眠で休養が十分に取れているか（女性）



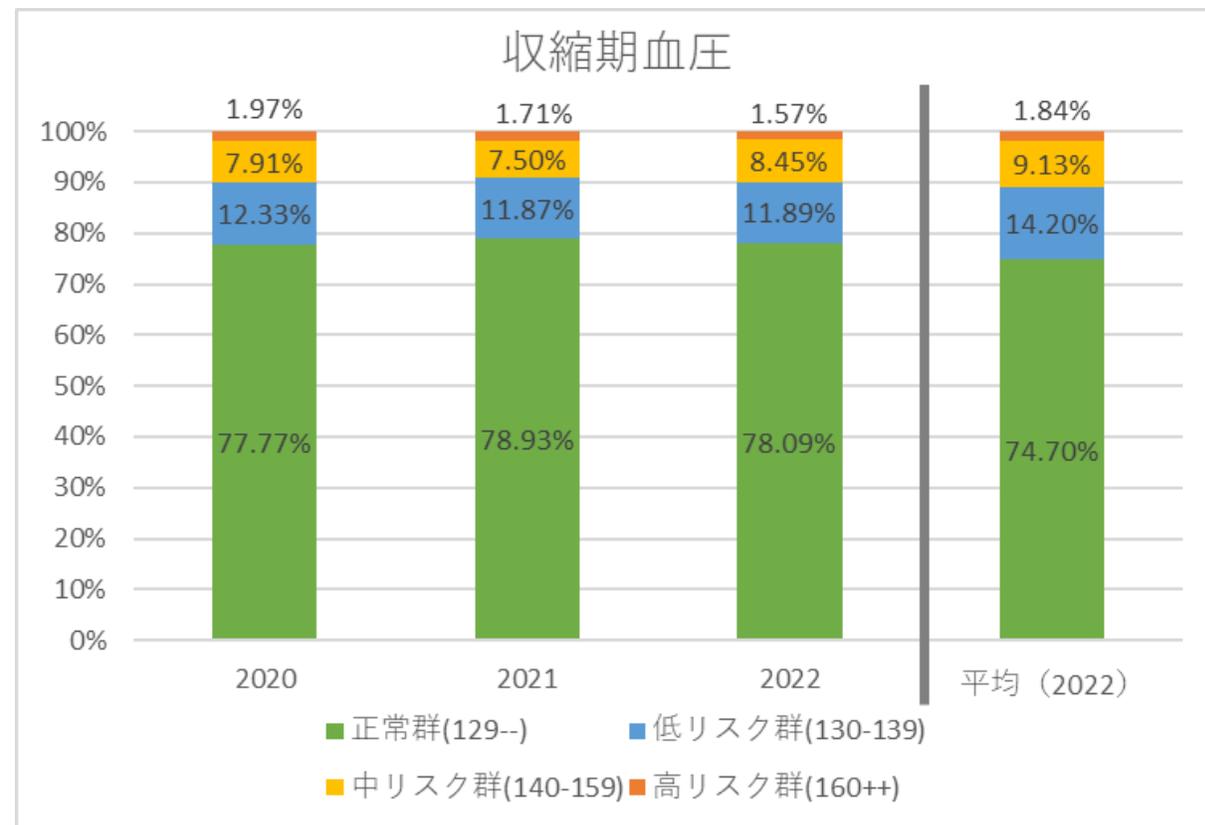
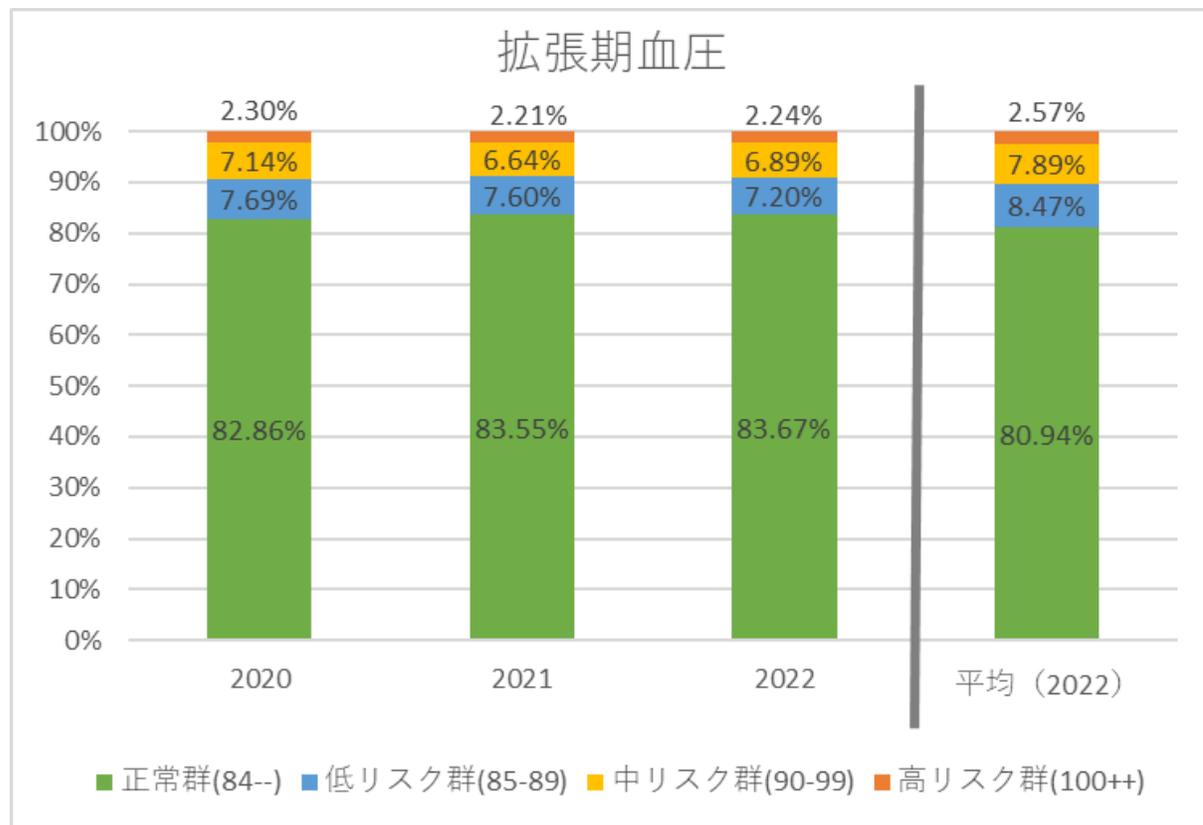
健診結果分析

① 肥満リスク



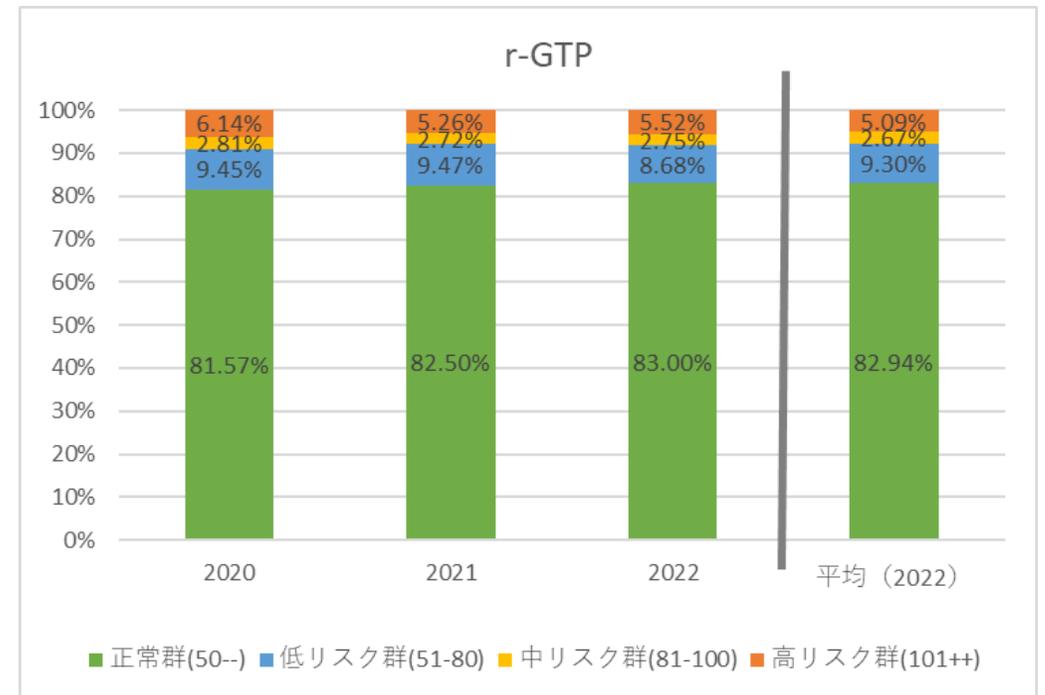
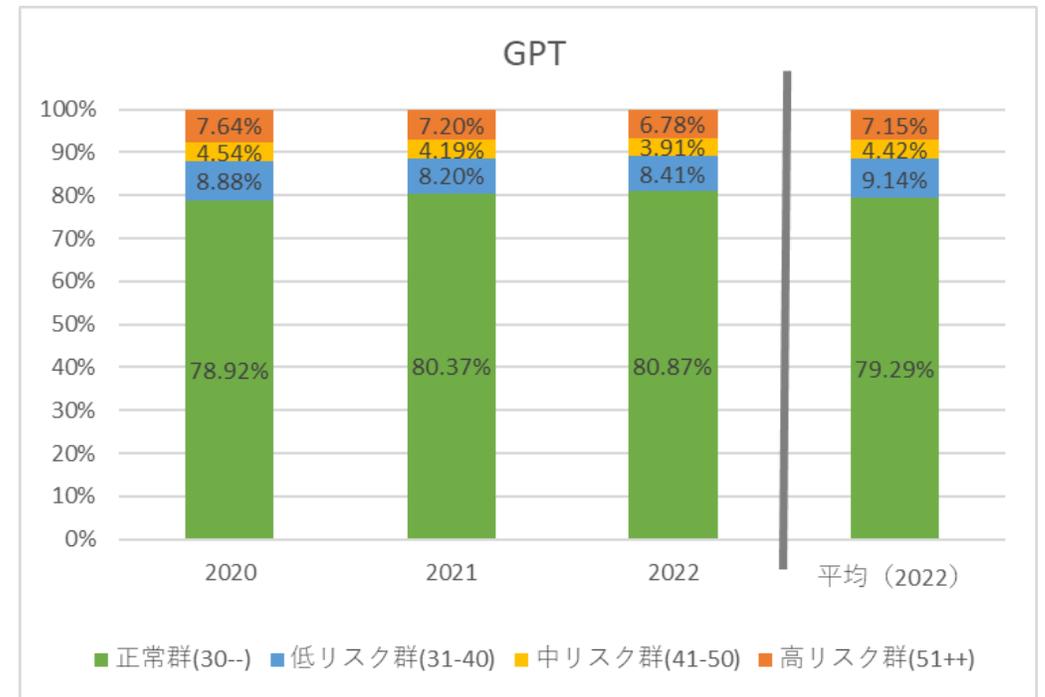
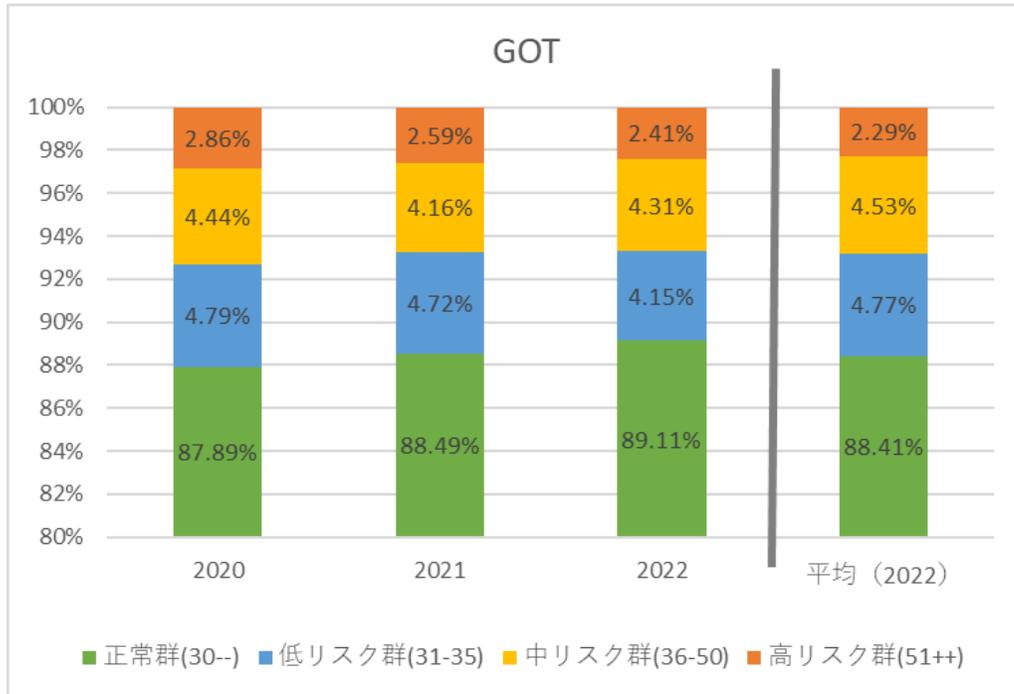
健診結果分析

② 高血圧リスク



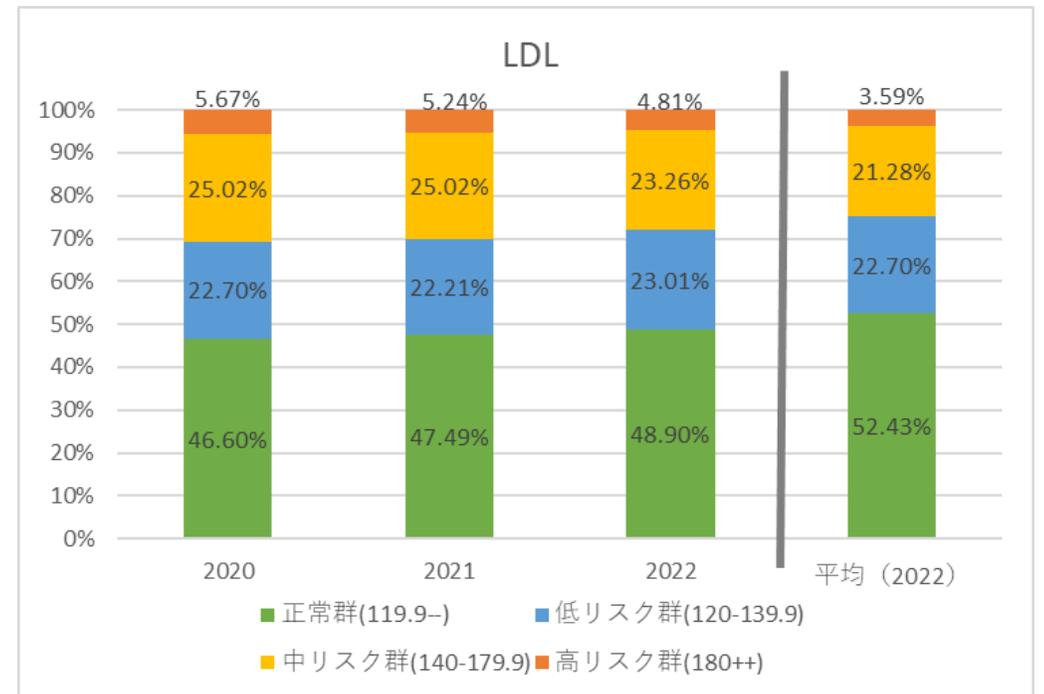
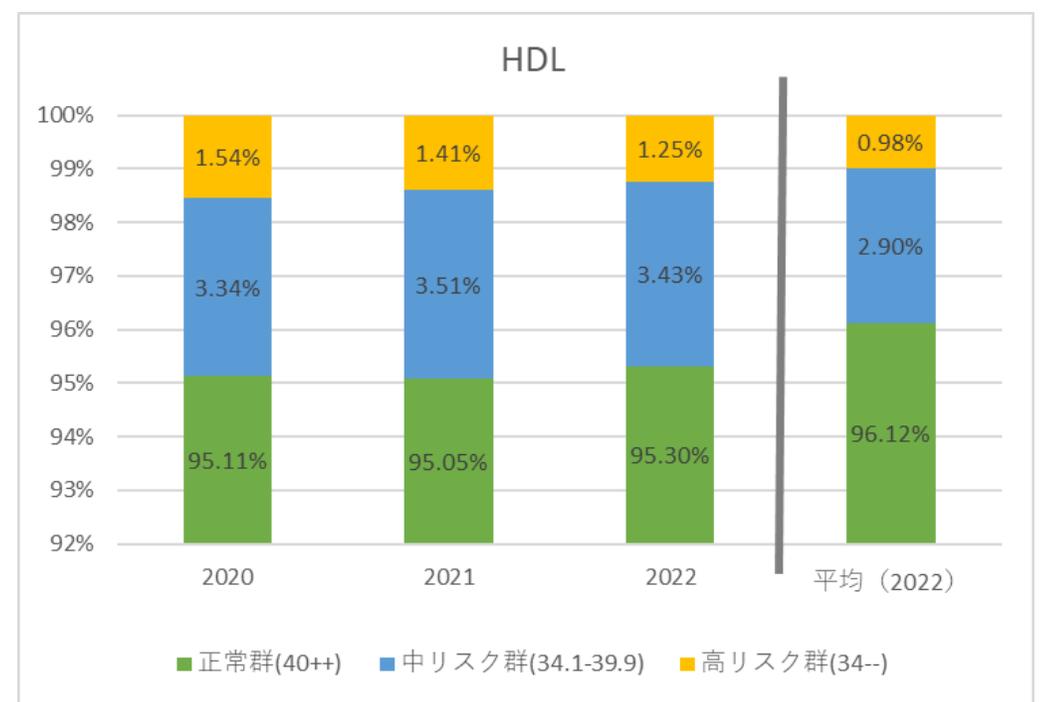
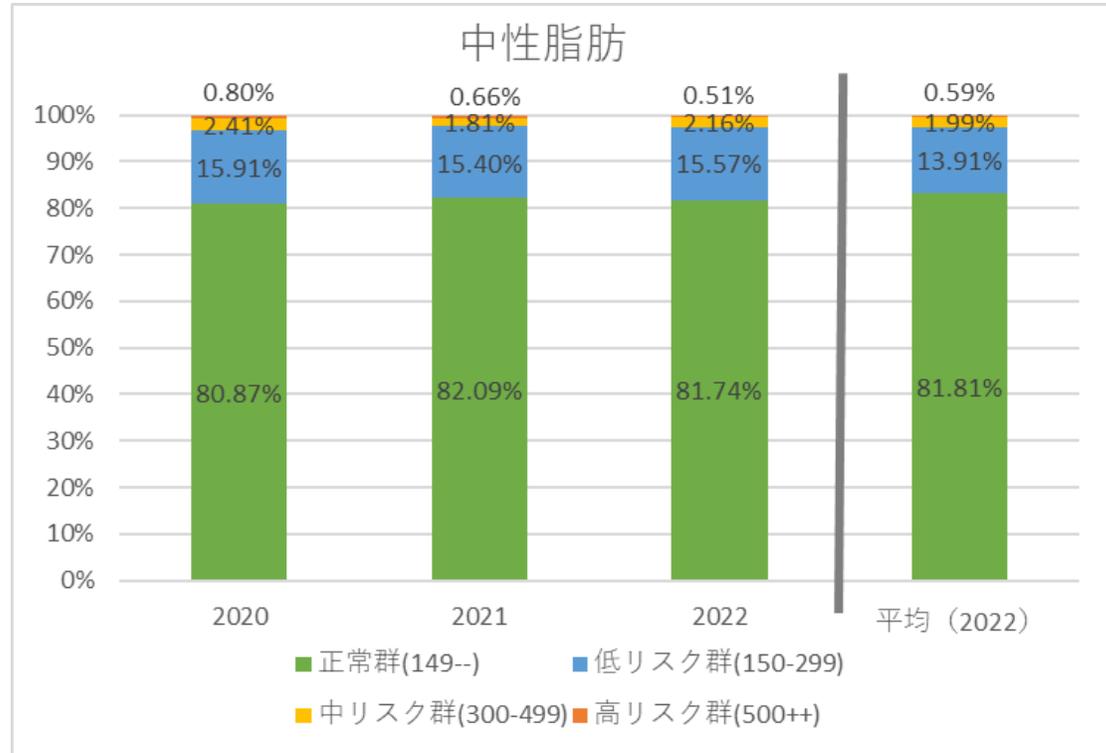
健診結果分析

③ 肝機能異常症リスク



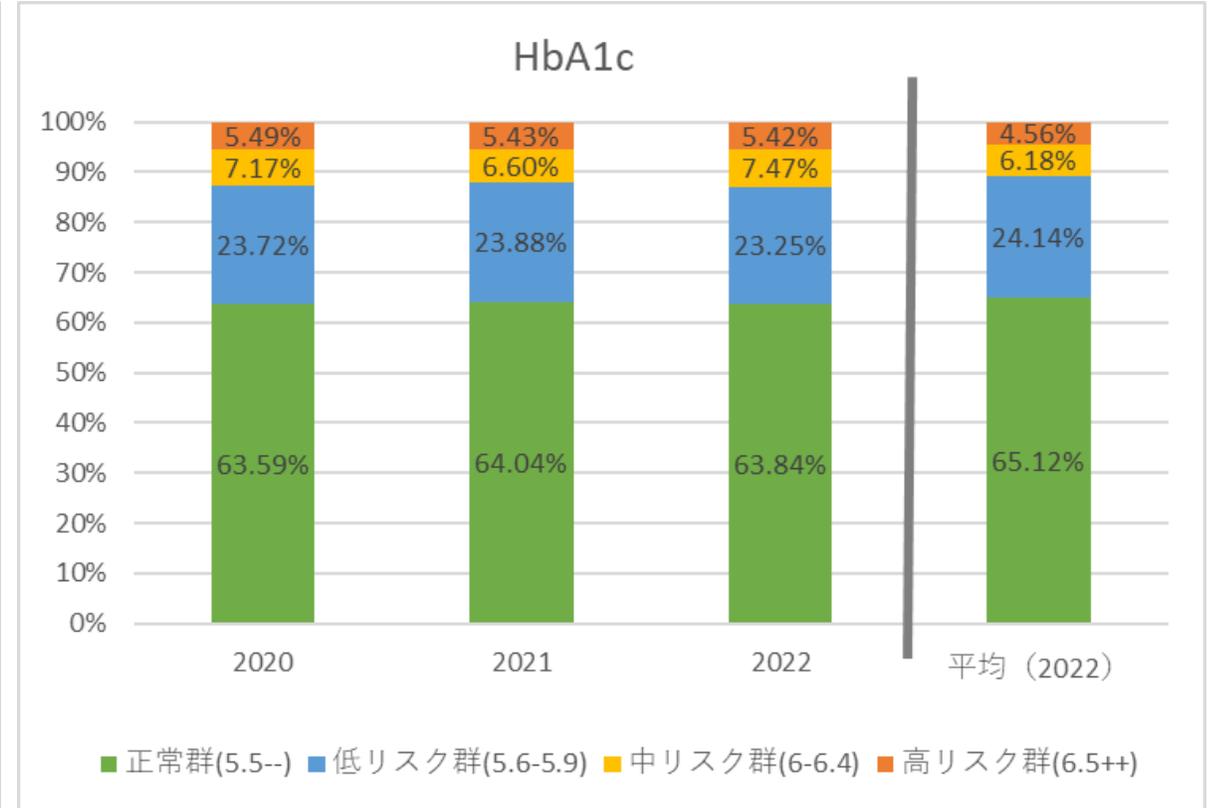
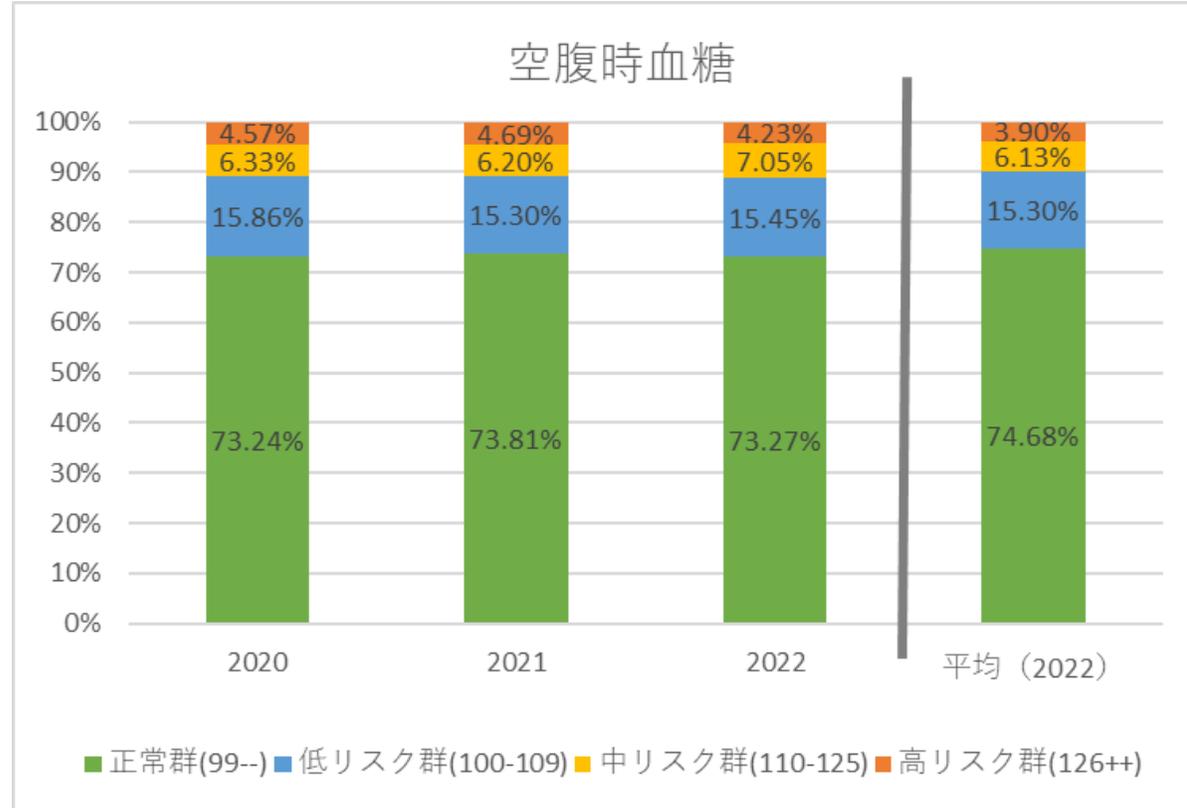
健診結果分析

④ 脂質異常症リスク



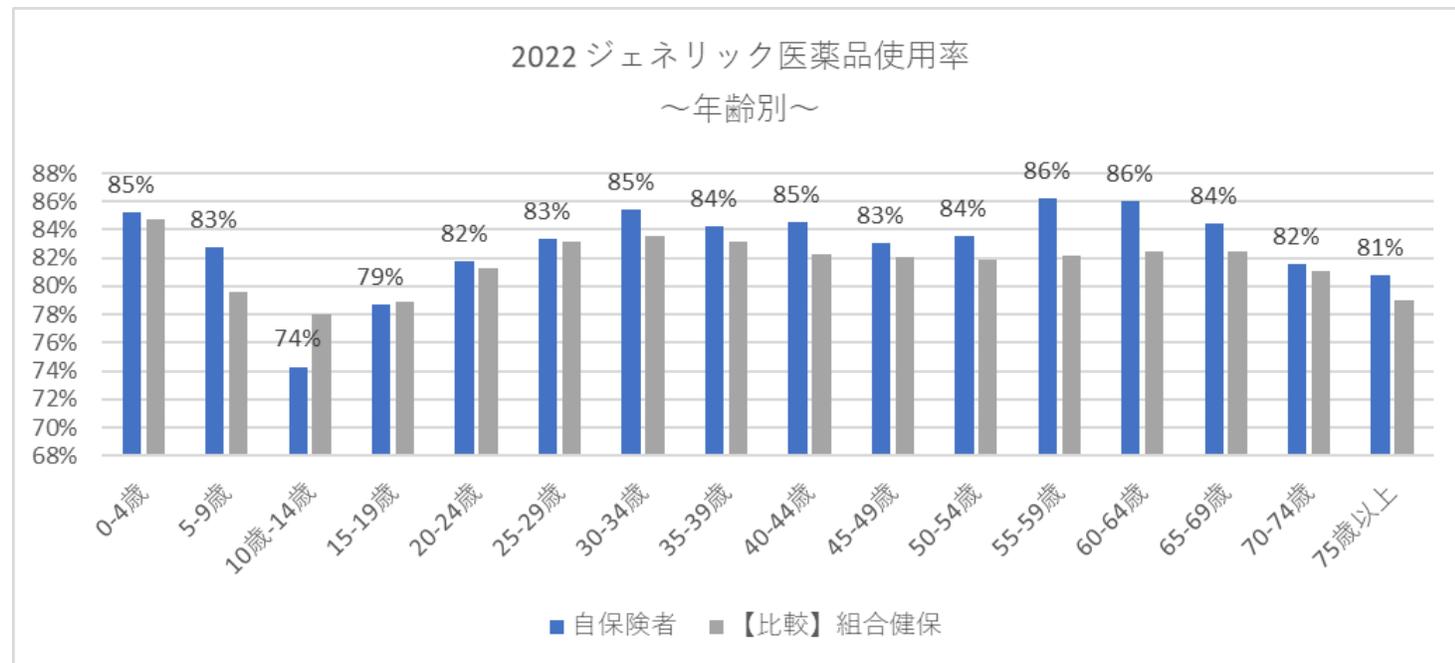
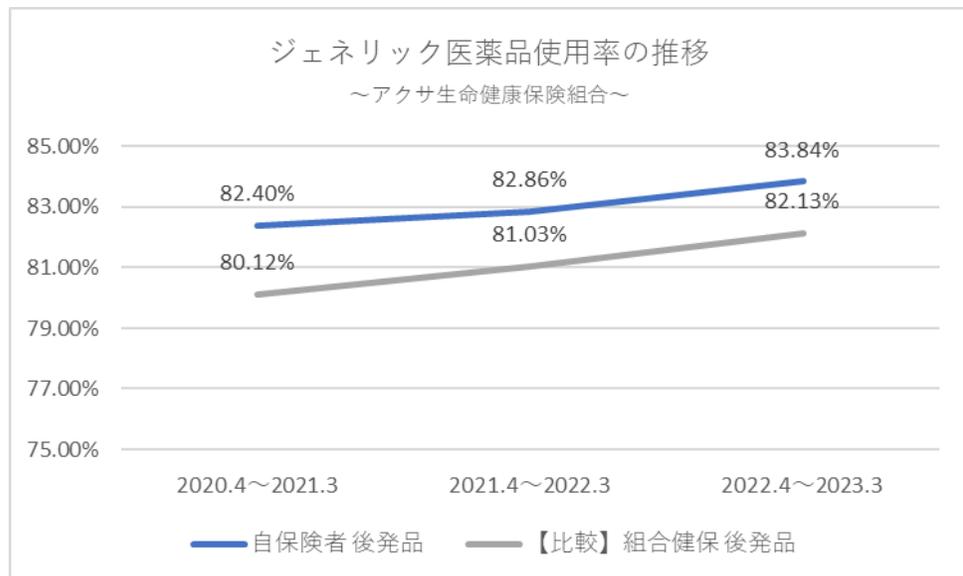
健診結果分析

⑤ 糖尿病リスク



ジェネリック医薬品

使用率の推移、年齢階層別



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ	被扶養者の特定健診受診率、特定保健指導実施率が低い	➔	<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者へ直接案内を送付 早めに受診勧奨を実施し、受診勧奨の回数も増やす 被扶養者のヘルスリテラシー向上 	✓
2	キ	肥満者の割合が多い 脂質異常症、糖尿病のリスク者割合も多い	➔	<ul style="list-style-type: none"> 成果を重視した若年層／特定保健指導の実施 生活習慣改善における取組（生活習慣改善に役立つ情報提供、ウォーキングキャンペーンの実施等） 	✓
3	イ	「受診勧奨レベル」「要治療レベル」とともに毎年減少しているが、他健保と比較すると割合が多い	➔	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な受診勧奨の実施 生活習慣改善における取組（生活習慣改善に役立つ情報提供、ウォーキングキャンペーンの実施等） 	
4	オ	全体の医療費のうち生活習慣病、悪性腫瘍の割合が、他健保と比較すると多い	➔	<ul style="list-style-type: none"> 若年層／特定保健指導／重症化予防の実施 二次健診の受診勧奨 	
5	カ	適正な生活習慣を有する者の割合が少ない <運動>適正な運動習慣を有する女性の割合が少ない <食事>適正な食事習慣を有する男性の割合が少ない <飲酒>男女ともに毎日飲酒する割合が多い（特に女性） <睡眠>睡眠で休養を取れている女性の割合が少ない <喫煙>男女ともに喫煙者の割合が多い（特に女性）	➔	<ul style="list-style-type: none"> 若年層／特定保健指導／重症化予防の実施 生活習慣改善に役立つ情報提供 ウォーキングキャンペーン、禁煙キャンペーンの実施 加入者のヘルスリテラシー向上 	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	営業所の拠点が全国にあり、加入者も点在している。	➔	保険事業の各種取り組みを行うにあたり、健保組合が個々の加入者に直接的に働きかけることは効果性・効率性から有効ではなく、事業主との協働(コラボ)で実施する必要がある。
2	女性被保険者は40代後半から50代が多く、65歳以上の高齢者が全体の約1割程度いる。	➔	特定健診・特定保健指導の実施率向上。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被扶養者の特定健診受診率、特定保健指導実施率が低い。	➔	案内方法を工夫（ナッジ理論等を用いて、シンプルにわかりやすく。）アプローチ回数を増やす
2	肥満者の割合が多い	➔	アウトプットではなく、アウトカムをより重視した保健指導の実施

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

効果的・効率的な保険事業を実施することにより、加入者全体の健康維持・増進を図り、会社の生産性向上への寄与および医療費の適正化を目指す

事業全体の目標

データを活用して保険事業をPDCAサイクルで運営し、事業主とのコラボヘルスを更に促進して、加入者一人ひとりがヘルスリテラシーを高めて、主体的に健康づくり・疾病予防をしていくことを目標とする

事業の一覧

職場環境の整備

疾病予防	健康管理事業推進委員会の開催
疾病予防	事業主と連携した健康宣言、健康経営ならびにデータヘルス計画の推進
疾病予防	部門別の健康スコアリングレポートの作成

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関紙等の発行（健保ニュース、AW通信）
保健指導宣伝	医療費通知の配布
疾病予防	健康ポータルサイトの運営/アプリを活用した女性の健康支援
疾病予防	ジェネリック通知の配布
疾病予防	適正服薬の取組

個別の事業

特定健康診査事業	健康診断（被保険者）
特定健康診査事業	健康診断（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
疾病予防	若年層保健指導
疾病予防	人間ドック費用補助
疾病予防	二次健診費用補助
疾病予防	インフルエンザ費用補助
疾病予防	生活習慣病の受診勧奨
疾病予防	生活習慣病の重症化予防
疾病予防	歯科健診の受診勧奨
疾病予防	生活習慣の改善（運動、食事、飲酒、睡眠、喫煙）
疾病予防	健康相談等
疾病予防	メンタルヘルスマネジメント
疾病予防	事業所用常備薬の配布

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画													
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度								
アウトプット指標													アウトカム指標													
職場環境の整備																										
疾病予防	1	既存	健康管理事業推進委員会の開催	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	2	ス	事業主の行う本社衛生委員会と同時開催とし、毎月開催。健康リテラシーの向上施策や保険事業の実施の共有と参加者から意見集約を実施。本社以外の衛生委員会においても、毎月資料を共有する。	ア、イ	事業主、衛生管理者、産業医、保健師、労働組合の代表のほか、一般従業員代表者も出席。	0	-	-	-	-	-	保健事業について委員と共有・意見交換を行うことで、実効性の高い保険事業を実施する	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
													毎月開催する委員会、現状の課題や今後の計画などを共有して意見交換を行い、保険事業の取り組みに反映する	毎月開催する委員会、現状の課題や今後の計画などを共有して意見交換を行い、保険事業の取り組みに反映する	毎月開催する委員会、現状の課題や今後の計画などを共有して意見交換を行い、保険事業の取り組みに反映する	毎月開催する委員会、現状の課題や今後の計画などを共有して意見交換を行い、保険事業の取り組みに反映する	毎月開催する委員会、現状の課題や今後の計画などを共有して意見交換を行い、保険事業の取り組みに反映する	毎月開催する委員会、現状の課題や今後の計画などを共有して意見交換を行い、保険事業の取り組みに反映する								
													健康管理事業推進委員会を開催(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)毎月開催						会議体でありアウトカムの設定はできないため(アウトカムは設定されていません)							
1	既存	事業主と連携した健康宣言、健康経営ならびにデータヘルス計画の推進	母体企業	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	キ	事業主と連携し、健康経営推進のための取り組みを行い、「金の認定」「健康経営優良法人初代500」を継続取得する。データヘルス計画を確実に実施する。	ア、イ	人事部門、健康増進センター、健保が連携	0	-	-	-	-	-	事業主と連携して「金の認定」「健康経営優良法人初代500」を継続取得し、全社員に周知することにより健康への意識付けを行う。データヘルス計画を確実に実施する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)							
												事業主と連携し、「金の認定」「健康経営優良法人初代500」継続取得のための取り組みと申請を行う。データヘルス計画についても事業主と共有し、確実に実施する	事業主と連携し、「金の認定」「健康経営優良法人初代500」継続取得のための取り組みと申請を行う。データヘルス計画についても事業主と共有し、確実に実施する	事業主と連携し、「金の認定」「健康経営優良法人初代500」継続取得のための取り組みと申請を行う。データヘルス計画についても事業主と共有し、確実に実施する	事業主と連携し、「金の認定」「健康経営優良法人初代500」継続取得のための取り組みと申請を行う。データヘルス計画についても事業主と共有し、確実に実施する	事業主と連携し、「金の認定」「健康経営優良法人初代500」継続取得のための取り組みと申請を行う。データヘルス計画についても事業主と共有し、確実に実施する	事業主と連携し、「金の認定」「健康経営優良法人初代500」継続取得のための取り組みと申請を行う。データヘルス計画についても事業主と共有し、確実に実施する									
												金の認定取得(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1件 令和7年度：1件 令和8年度：1件 令和9年度：1件 令和10年度：1件 令和11年度：1件)-						認証取得でありアウトカムの設定はできないため(アウトカムは設定されていません)								
ホワイト500取得(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1件 令和7年度：1件 令和8年度：1件 令和9年度：1件 令和10年度：1件 令和11年度：1件)-																										
1,2	新規	部門別の健康スコアリングレポートの作成	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ス	(実施方法については、R6年度の計画策定後に入力する)	シ	健保組合	0	-	-	-	-	-	部門別健康スコアリングレポートの作成に向けての計画を策定する	部門別の健康スコアリングレポートの作成をパイロットで実施して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する	部門別の健康状況を可視化することで、事業主および加入者のヘルスリテラシーを向上する	適正な生活習慣を有する者の割合が少ない <運動>適正な運動習慣を有する女性の割合が少ない <食事>適正な食事習慣を有する男性の割合が少ない <飲酒>男女ともに毎日飲酒する割合が多い(特に女性) <睡眠>睡眠で休養を取れている女性の割合が少ない <喫煙>男女ともに喫煙者の割合が多い(特に女性)	
												部門別健康スコアリングレポートの作成をパイロットで実施して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する	部門別の健康スコアリングレポートを作成して、事業主と共有する										
												レポート作成(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)年に一回レポートを作成して、事業主と共有する						認証取得でありアウトカムの設定はできないため(アウトカムは設定されていません)								
加入者への意識づけ																										
保健指導宣伝	2	既存	機関紙等の発行(健保ニュース、AW通信)	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	「健保ニュース」を年2回メール配信するとともに、「アクサウェルネス通信」を隔月で配信する。	ア、イ	「健保ニュース」のテーマは健保から提供のうえ外部委託先で作成し、「アクサウェルネス通信」については、健康増進センターと連携し作成する。	0	-	-	-	-	-	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保の現状、健保を取り巻く環境変化、各種事業の実施状況などを加入者と共有することで、加入者のヘルスリテラシーを向上するとともにセルフケアを促進する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回	健保ニュースの発行：年2回 アクサウェルネス通信の発行：年6回									
													健保ニュースの発行(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)全被保険者へ配布、健保HPを通して全加入者が見られるようにする						機関紙発行につきアウトカムの設定ができないため(アウトカムは設定されていません)							
アクサウェルネス通信の発行(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：6回 令和7年度：6回 令和8年度：6回 令和9年度：6回 令和10年度：6回 令和11年度：6回)全被保険者へ配布、健保HPを通して全加入者が見られるようにする																										
2	既存	医療費通知の配布	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ、ウ	健康ポータルサイト(PEP UP)を活用し、毎月医療費の通知を行う(PEP UP未登録者は閲覧ができないため、登録勸奨を実施する)	シ	健保組合	0	-	-	-	-	-	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	加入者に医療費をあらためて確認してもらうことで、健康保険制度に対する理解を深めてもらい、適正な医療費の支出に繋げる	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)	毎月医療費通知を掲載する(PEP UP未登録者には登録勸奨を実施する)										
												医療費通知の実施回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12回 令和7年度：12回 令和8年度：12回 令和9年度：12回 令和10年度：12回 令和11年度：12回)-						(加入者への意識づけの観点から、アウトカム指標の設定なし)(アウトカムは設定されていません)								
4,693,563																										

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連									
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画															
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度								
アウトプット指標												アウトカム指標																
疾病予防	2,5	既存	健康ポータルサイトの運営/アプリを活用した女性の健康支援	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	ア,エ,オ,ケ	外部委託により健康ポータルサイト(PEP UP)を活用し、加入者の登録・利用促進を行う	シ	人事部門と連携	健康ポータルサイトの運営 ・健康記事の配信 ・健診結果データの閲覧 ・ウォーキングイベント等の実施 ・各種申請手続き 健康ポータルサイトの運営 ①女性の健康課題をはじめとする健康情報に関する記事の定期発信(毎月・随時) ②PepUpアプリ登録者向上のための取り組み(未登録者に対する勧奨) ・書面による案内(ジェネリック医薬品案内など/9月) ・健康保険組合イントラネットサイトへの掲載/随時 ・各種イベント(ウォーキング等)での登録誘導(年2回) ・定期配信メール通知での案内(年6回)								・健康記事の配信 ・健診結果データの閲覧 ・ウォーキングイベント等の実施 ・各種申請手続き	・健康記事の配信 ・健診結果データの閲覧 ・ウォーキングイベント等の実施 ・各種申請手続き	・健康記事の配信 ・健診結果データの閲覧 ・ウォーキングイベント等の実施 ・各種申請手続き	・健康記事の配信 ・健診結果データの閲覧 ・ウォーキングイベント等の実施 ・各種申請手続き	・健康記事の配信 ・健診結果データの閲覧 ・ウォーキングイベント等の実施 ・各種申請手続き	・健康記事の配信 ・健診結果データの閲覧 ・ウォーキングイベント等の実施 ・各種申請手続き	・ICT活用により加入者のヘルスリテラシーを向上させるとともに、保健事業に関する各種申請手続きの効率化を図る ・健康管理アプリ「Pep Up」を活用した女性の健康に関する情報提供による加入者の健康リテラシーの向上	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
PEP UP登録率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：63% 令和7年度：65% 令和8年度：69% 令和9年度：73% 令和10年度：77% 令和11年度：80%)-												ポータルサイト運営の為(アウトカムは設定されていません)																
	2,7	既存(法定)	ジェネリック通知の配布	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	キ,ク	健康ポータルサイト(PEP UP)を活用し、四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	カ	健保組合	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	四半期に一度ジェネリック通知を行う PEP UP未登録者には、年に一度ジェネリック通知を配布する	ジェネリックの利用を促して、薬剤費の抑制を図る	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
ジェネリック通知の実施回数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回) 健康ポータルサイト(PEP UP)を通じて実施												ジェネリック利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：83% 令和7年度：84% 令和8年度：85% 令和9年度：86% 令和10年度：87% 令和11年度：88%) ジェネリック利用率については、他健保の平均値等を確認して毎年見直すこととする																
	2,5	新規	適正服薬の取組	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	イ,ク	年に一度、対象者を抽出して、ポリファーマシー通知の配布とセルフメディケーションの案内メールを配信する。	シ	ポリファーマシー通知は外部委託先で作成。セルフメディケーションの案内は健保で実施。	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	ポリファーマシー通知の配布 セルフメディケーションの案内メール配信	服薬による健康被害リスクを軽減し、軽度な不調についてはセルフケアを促すことで、医療費の適正化を図る。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)						
ポリファーマシー通知の配布(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												加入者への意識づけの観点から、アウトカム指標の設定なし(アウトカムは設定されていません)																
セルフメディケーションの案内メール配信(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-																												
個別の事業																												
												181,700,750																

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連																	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度																
アウトプット指標												アウトカム指標																								
特定健康診査事業	3	既存(法定)	健康診断(被保険者)	全て	男女	18~74	被保険者	3	イ,ウ,キ,ケ,サ,シ	事業主の行う法定健診にがん検診をセットして実施 申し込みはWebまたは電話で行う 外部委託先からメールで案内を行い、定期的を受診勧奨を実施する	ア,イ,カ	健診予約および受診管理に関して外部委託を行なうとともに、受診勧奨については対象者に直接の他、事業主と連携し職制を通じて行う	事業主と協働で健康診断を実施する	事業主と協働で健康診断を実施する	事業主と協働で健康診断を実施する	事業主と協働で健康診断を実施する	事業主と協働で健康診断を実施する	事業主と協働で健康診断を実施する	被保険者の健康管理と疾病の早期発見	肥満者の割合が多い 脂質異常症、糖尿病のリスク者割合も多い 「受診勧奨レベル」「要治療レベル」ともに毎年減少しているが、他健保と比較すると割合が多い 全体の医療費のうち生活習慣病、悪性腫瘍の割合が、他健保と比較すると多い 適正な生活習慣を有する者の割合が少ない ＜運動＞適正な運動習慣を有する女性の割合が少ない ＜食事＞適正な食事習慣を有する男性の割合が少ない ＜飲酒＞男女ともに毎日飲酒する割合が多い(特に女性) ＜睡眠＞睡眠で休養を取れている女性の割合が少ない ＜喫煙＞男女ともに喫煙者の割合が多い(特に女性)																
																				特定健診実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：98% 令和7年度：98% 令和8年度：99% 令和9年度：99% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)												内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：13.5% 令和7年度：13.3% 令和8年度：13.1% 令和9年度：12.9% 令和10年度：12.7% 令和11年度：12.5%)				
																				15,227,300																
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導(被保険者)	全て	男女	40~74	基準該当者	3	エ,ク,ケ,サ	対象者を抽出し、外部委託先による保健指導を実施 ICT面談を活用することで参加率の向上を図る	ア,ウ	外部委託先にて保健指導を実施 事業主と連携し、職制を通じた参加勧奨を行なう	前年の効果検証を行い、見直して実施する 職制を通じた参加勧奨	前年の効果検証を行い、見直して実施する 職制を通じた参加勧奨	前年の効果検証を行い、見直して実施する 職制を通じた参加勧奨	前年の効果検証を行い、見直して実施する 職制を通じた参加勧奨	前年の効果検証を行い、見直して実施する 職制を通じた参加勧奨	前年の効果検証を行い、見直して実施する 職制を通じた参加勧奨	被保険者の生活習慣病予防および重症化予防	肥満者の割合が多い 脂質異常症、糖尿病のリスク者割合も多い 全体の医療費のうち生活習慣病、悪性腫瘍の割合が、他健保と比較すると多い 適正な生活習慣を有する者の割合が少ない ＜運動＞適正な運動習慣を有する女性の割合が少ない ＜食事＞適正な食事習慣を有する男性の割合が少ない ＜飲酒＞男女ともに毎日飲酒する割合が多い(特に女性) ＜睡眠＞睡眠で休養を取れている女性の割合が少ない ＜喫煙＞男女ともに喫煙者の割合が多い(特に女性)																
																				特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：75% 令和7年度：76% 令和8年度：77% 令和9年度：78% 令和10年度：79% 令和11年度：80%) 目標値については、前年の実施状況を見つづいて設定												特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：8.5% 令和7年度：8.5% 令和8年度：8.5% 令和9年度：8.5% 令和10年度：8.5% 令和11年度：8.5%)				
																				2,264,328																

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
4	既存(法定)		特定保健指導(被扶養者)	全て	男女	40~74	基準該当者	1	エ,ク,ケ	ウ	外部委託先にて保健指導を実施	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	被扶養者の生活習慣病予防および重症化予防。	被扶養者の特定健診受診率、特定保健指導実施率が低い 肥満者の割合が多い 脂質異常症、糖尿病のリスク者割合も多い 全体の医療費のうち生活習慣病、悪性腫瘍の割合が、他健保と比較すると多い 適正な生活習慣を有する者の割合が少ない ＜運動＞適正な運動習慣を有する女性の割合が少ない ＜食事＞適正な食事習慣を有する男性の割合が少ない ＜飲酒＞男女ともに毎日飲酒する割合が多い(特に女性) ＜睡眠＞睡眠で休養を取れている女性の割合が少ない ＜喫煙＞男女ともに喫煙者の割合が多い(特に女性)	
特定保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：30% 令和7年度：35% 令和8年度：40% 令和9年度：45% 令和10年度：50% 令和11年度：55%)												特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：8.5% 令和7年度：8.5% 令和8年度：8.5% 令和9年度：8.5% 令和10年度：8.5% 令和11年度：8.5%)								
疾病予防	4	既存	若年層保健指導	全て	男女	35~39	基準該当者	1	エ,ク,ケ,サ	ア,ウ	外部委託先にて保健指導を実施 事業主と連携し、積極的な参加を促す	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	保健指導の対象を若年層(35~39歳)へも拡大して、40歳時点で特定保健指導の対象外となることを目指す。	肥満者の割合が多い 脂質異常症、糖尿病のリスク者割合も多い 全体の医療費のうち生活習慣病、悪性腫瘍の割合が、他健保と比較すると多い 適正な生活習慣を有する者の割合が少ない ＜運動＞適正な運動習慣を有する女性の割合が少ない ＜食事＞適正な食事習慣を有する男性の割合が少ない ＜飲酒＞男女ともに毎日飲酒する割合が多い(特に女性) ＜睡眠＞睡眠で休養を取れている女性の割合が少ない ＜喫煙＞男女ともに喫煙者の割合が多い(特に女性)	
	保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：40% 令和7年度：45% 令和8年度：50% 令和9年度：55% 令和10年度：60% 令和11年度：65%)												保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：17.0% 令和7年度：16.6% 令和8年度：16.2% 令和9年度：15.8% 令和10年度：15.4% 令和11年度：15.0%)							
	3	既存	人間ドック費用補助	全て	男女	18~74	基準該当者	1	ケ	カ	被保険者および被扶養配偶者が、通常健康診断に代えて人間ドックを利用する場合に、費用補助を行う	健診委託先に予約した場合、費用補助額を控除した額が自己負担となる	通常健康診断に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	通常健康診断に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	通常健康診断に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	通常健康診断に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	通常健康診断に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	通常健康診断に代えて受診できるものとし、費用補助を行う	健診の選択肢を増やすことで健康診断の受診率向上を図り、健康管理と疾病予防につなげる	被扶養者の特定健診受診率、特定保健指導実施率が低い
	費用補助の案内(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												被保険者健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：98% 令和7年度：98% 令和8年度：99% 令和9年度：99% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)							
												被扶養者健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：70% 令和7年度：71% 令和8年度：72% 令和9年度：73% 令和10年度：74% 令和11年度：75%)								
3	新規	二次健診費用補助	全て	男女	18(上限なし)	基準該当者	3	イ	ア,イ,カ	二次健診受診勧奨などは事業主が主体で行い、健保は費用補助を行う(事業主経由で給与支払にて対応)	二次健診の費用補助を行う	二次健診の費用補助を行う	二次健診の費用補助を行う	二次健診の費用補助を行う	二次健診の費用補助を行う	二次健診の費用補助を行う	二次健診の費用補助を行う	費用補助を行うことで二次健診の受診率向上を図り、重症化予防に繋げる	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
費用補助の案内(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)												二次健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：81% 令和8年度：82% 令和9年度：83% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)								
8	既存	インフルエンザ費用補助	全て	男女	18~74	被保険者,被扶養者	3	ス	ア,カ	希望する事業所において、集団接種を実施する 医療機関および各事業所の担当者で連携し、集団接種を実施する 費用補助については事業主経由で給与支払にて対応する	希望する事業所において、集団接種を実施する インフルエンザワクチン接種をした被保険者および被扶養配偶者に対して、費用補助を行う	希望する事業所において、集団接種を実施する インフルエンザワクチン接種をした被保険者および被扶養配偶者に対して、費用補助を行う	希望する事業所において、集団接種を実施する インフルエンザワクチン接種をした被保険者および被扶養配偶者に対して、費用補助を行う	希望する事業所において、集団接種を実施する インフルエンザワクチン接種をした被保険者および被扶養配偶者に対して、費用補助を行う	希望する事業所において、集団接種を実施する インフルエンザワクチン接種をした被保険者および被扶養配偶者に対して、費用補助を行う	希望する事業所において、集団接種を実施する インフルエンザワクチン接種をした被保険者および被扶養配偶者に対して、費用補助を行う	希望する事業所において、集団接種を実施する インフルエンザワクチン接種をした被保険者および被扶養配偶者に対して、費用補助を行う	費用補助を行ってインフルエンザの予防接種を促進することで、インフルエンザ罹患者の減少につなげる	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
費用補助申請者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1,000人 令和7年度：1,100人 令和8年度：1,200人 令和9年度：1,300人 令和10年度：1,400人 令和11年度：1,500人)												インフルエンザ罹患率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：8% 令和7年度：8% 令和8年度：8% 令和9年度：8% 令和10年度：8% 令和11年度：8%)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
4	新規	生活習慣病の受診勧奨	全て	男女	18～(上限なし)	基準該当者	1	イ,ク	毎年対象者へ受診勧奨通知を行う	シ	外部委託先で対象者を抽出して受診勧奨通知を作成	受診勧奨の実施	受診勧奨の実施	受診勧奨の実施	受診勧奨の実施	受診勧奨の実施	受診勧奨の実施	受診勧奨を行って早期発見・早期治療に繋げることで、将来的な健康上のリスクを減らす	「受診勧奨レベル」「要治療レベル」ともに毎年減少しているが、他健保と比較すると割合が多い	
受診勧奨の実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												受診勧奨対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：26.0% 令和7年度：25.8% 令和8年度：25.6% 令和9年度：25.4% 令和10年度：25.2% 令和11年度：25.0%)-								
4	既存	生活習慣病の重症化予防	全て	男女	18～74	基準該当者	1	エ,ク,ケ	一定基準に該当する対象者を抽出して、重症化予防プログラムを提供する	イ,ウ	生活改善指導については外部委託し、専門性の高い保健指導を実施する相談希望者に対しては、産業医・保健師と連携した対応を行なう	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	前年の効果検証を行い、見直して実施する	一定基準に該当する対象者へ重症化予防プログラムへの参加勧奨を行い、重症化を予防する	全体の医療費のうち生活習慣病、悪性腫瘍の割合が、他健保と比較すると多い	
重症化予防プログラムの案内(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												重症化予防プログラムへの参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：60% 令和7年度：62% 令和8年度：64% 令和9年度：66% 令和10年度：68% 令和11年度：70%)-								
3,4	既存	歯科健診の受診勧奨	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ウ,ク,ケ	歯科健診の案内を行う問診票にてかみ合わせが悪いと回答、かつ一定期間歯科の受診歴がない加入者を抽出し、受診勧奨を行う	カ	歯科健診については外部委託で行う受診勧奨は健保で実施する	歯科健診の案内を行う対象者を抽出して、受診勧奨を行う	歯科健診の案内を行う対象者を抽出して、受診勧奨を行う	歯科健診の案内を行う対象者を抽出して、受診勧奨を行う	歯科健診の案内を行う対象者を抽出して、受診勧奨を行う	歯科健診の案内を行う対象者を抽出して、受診勧奨を行う	歯科健診の案内を行う対象者を抽出して、受診勧奨を行う	歯科未受診者を減らし、う蝕や歯周病の重症化を予防することで、将来的に歯科医療費を抑制する	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
歯科健診の案内(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												対象者の歯科受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：35% 令和7年度：36% 令和8年度：37% 令和9年度：38% 令和10年度：39% 令和11年度：40%)受診勧奨を実施した対象者の歯科受診率								
受診勧奨の実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-																				
2,5	新規	生活習慣の改善(運動、食事、飲酒、睡眠、喫煙)	全て	男女	18～(上限なし)	加入者全員	3	ア,ケ	・毎年発行される健康スコアリングレポートを事業主とも共有し、事業主とともに必要なアクション検討して実施する ・生活習慣の改善に関する情報提供を実施して、加入者のヘルスリテラシーを向上する(AW通信等) ・運動習慣については、スポーツクラブと法人契約を締結して加入者への利用勧奨を行い、ウォーキングキャンペーン等の運動イベントを実施する ・喫煙については、禁煙サポートを継続して行い、世界禁煙デーにあわせて禁煙キャンペーンを実施する。 運動イベントの参加率向上のためにインセンティブを活用する	ア,イ,ウ	スポーツクラブと法人契約を締結し、人事部門や産業医と一体となって運動習慣の向上を図る	・健康スコアリングレポートの共有・アクションの実施 ・情報提供の実施 ・法人契約スポーツクラブの利用勧奨 ・運動イベントの実施 ・禁煙サポートの提供 ・禁煙キャンペーンの実施	・健康スコアリングレポートの共有・アクションの実施 ・情報提供の実施 ・法人契約スポーツクラブの利用勧奨 ・運動イベントの実施 ・禁煙サポートの提供 ・禁煙キャンペーンの実施	・健康スコアリングレポートの共有・アクションの実施 ・情報提供の実施 ・法人契約スポーツクラブの利用勧奨 ・運動イベントの実施 ・禁煙サポートの提供 ・禁煙キャンペーンの実施	・健康スコアリングレポートの共有・アクションの実施 ・情報提供の実施 ・法人契約スポーツクラブの利用勧奨 ・運動イベントの実施 ・禁煙サポートの提供 ・禁煙キャンペーンの実施	・健康スコアリングレポートの共有・アクションの実施 ・情報提供の実施 ・法人契約スポーツクラブの利用勧奨 ・運動イベントの実施 ・禁煙サポートの提供 ・禁煙キャンペーンの実施	・健康スコアリングレポートの共有・アクションの実施 ・情報提供の実施 ・法人契約スポーツクラブの利用勧奨 ・運動イベントの実施 ・禁煙サポートの提供 ・禁煙キャンペーンの実施	・健康スコアリングレポートの共有・アクションの実施 ・情報提供の実施 ・法人契約スポーツクラブの利用勧奨 ・運動イベントの実施 ・禁煙サポートの提供 ・禁煙キャンペーンの実施	事業主と一体となって、適正な運動・食事・飲酒・睡眠・喫煙習慣を根付かせるための取り組みを行い、生活習慣の改善を図る	肥満者の割合が多い 脂質異常症、糖尿病のリスク者割合も多い 全体の医療費のうち生活習慣病、悪性腫瘍の割合が、他健保と比較すると多い 適正な生活習慣を有する者の割合が少ない <運動>適正な運動習慣を有する者の割合が少ない <食事>適正な食事習慣を有する男性の割合が少ない <飲酒>男女ともに毎日飲酒する割合が多い(特に女性) <睡眠>睡眠で休養を取れている女性の割合が少ない <喫煙>男女ともに喫煙者の割合が多い(特に女性)
健康スコアリングレポートの共有(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												生活習慣スコア(運動)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)外部委託先の分析ツール「らくらく健助」にて抽出できる生活習慣チャート上のスコア								
情報提供の実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												生活習慣スコア(食事)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-								
法人契約スポーツクラブの利用勧奨(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												生活習慣スコア(飲酒)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-								
運動イベントの実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)ウォーキングキャンペーンの実施												生活習慣スコア(睡眠)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-								
禁煙キャンペーンの実施(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												生活習慣スコア(喫煙)(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-								
6	既存	健康相談等	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	外部委託により、24時間電話/メール健康相談、セカンドオピニオン手配、受診手配に関する相談窓口を設置する	ア,イ,ウ	人事部門、産業医と連携し、外部委託により実施する	外部委託による相談窓口を設置 事業主とも連携し、相談窓口の周知を行う	外部委託による相談窓口を設置 事業主とも連携し、相談窓口の周知を行う	外部委託による相談窓口を設置 事業主とも連携し、相談窓口の周知を行う	外部委託による相談窓口を設置 事業主とも連携し、相談窓口の周知を行う	外部委託による相談窓口を設置 事業主とも連携し、相談窓口の周知を行う	外部委託による相談窓口を設置 事業主とも連携し、相談窓口の周知を行う	加入者の健康全般に関する不安、疑問への対応窓口を提供する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
2,673,000																				

